

桜樹会会報

第34号



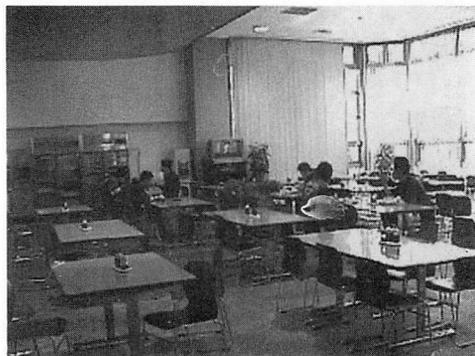
平成12年5月

日本大学桜樹会

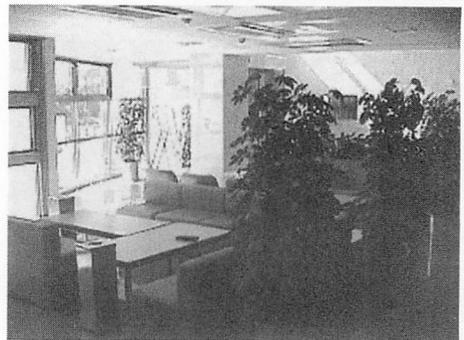
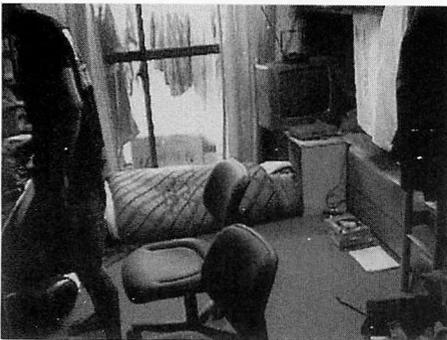
新 男子合宿所完成



新しい男子合宿所（手前）。奥に見えるのが旧合宿所。ほとんどのクラブが同じ屋根の下で暮らしている。



合宿所の食堂。カフェテリア方式で、朝食と夕食が準備されている。色々なクラブと食を共にするのも特徴的。



グラウンド内に立てられた合宿所の外観。まだ周りは整備中である。また、各部屋は、冷暖房完備。2段ベッドと2つの机と椅子が準備されている。

桜樹会報34号 目次

名選手シュワルツマン	顧問	濱田靖一	1
最後の海外遠征	顧問	遠藤幸雄	3
“つくる”楽しさを教えてくれた体操競技生活	3回卒	春山文子	3
我が懐古と期待	6回卒	仲西盛光	5
近況報告	12回卒	森山 理	5
会報第34号発刊に寄せて	14回卒	森田 博	6
「熊本未来国体」を終えて	16回卒	錦井利臣	7
私の生涯スポーツ・体操	17回卒	広川優子	8
挨拶の大切さ	23回卒	宮川直人	8
青森県の現状	28回卒	河島勝行	9
体操を通じての体験	33回卒	三富洋昭	10
Nマークをつけて	37回卒	吉田義経	11
男子体操部練習内容と環境	男子主将	高橋勇騎	12
男子体操部生活内容と環境	男子総務	濱崎 誠	12
女子体操部練習内容と環境	女子主将	関根 彩	13
女子体操部生活内容と環境	女子総務	井野里奈	13
東北ブロック活性化に向けて	7回卒	佐藤 勲	14
平成11年度事業および行事報告			15
平成11年度競技会成績報告	25回卒 遠藤、31回卒 長澤、34回卒 君嶋		16
平成11年度懇親会報告			23
平成11年度役員会報告			25
平成11年度会費納入状況報告			27
会費納入のお願いと住所シールの見方～会費未納の方へ～			30
平成12年度分の会費について			30
平成11年度収支決算報告			31
平成11年度総会報告			32
平成12年度事業および行事計画			34
平成12年度予算案			35
平成12年度新入会員および1999会員名簿訂正			36
平成12年度体操部行事予定(日本体操協会行事を含む)			44
平成12年度体操部役員および部員			45
40周年記念号作成準備のお知らせとお願い			46
編集後記			

名選手シュワルツマン

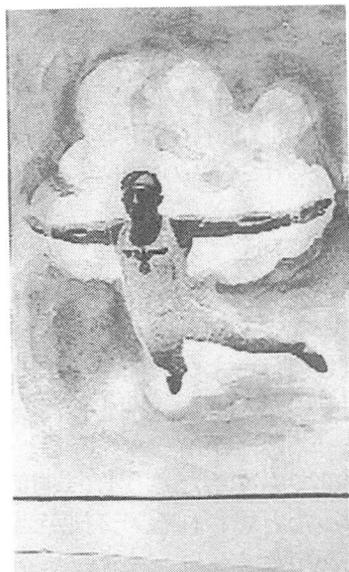
顧問 濱田 靖一

—むかし、むかし、あるところに一で始まる御伽噺は今も昔も年寄の担当である。

桜樹会 34 号の原稿の依頼をいただいた。「思い出」でもよいとあったので、大事な紙面を駄筆で汚すのは気がひけるが筆を執らせてもらうことにした。体操競技のオトギバナシである。

1961 年（昭和 36 年）のことだから今から 40 年前の話である。十年一昔とすれば「むかし」を 4 つも並べなければならぬがマア不況の世の中、むかし、むかしと二つぐらいで我慢してもらうことにする。

第 2 回ユニバーシアード大会は 1961 年 8 月 26 日から 10 日間、ブルガリアのソフィアで開かれ、私は五人の学生選手の監督として参加した。辻（日大）、日高（日体大）、三栗（教大）、長沢（教大）、石原（教大）君達はそのメンバーであった。教大とは今の筑波大学の事である。このうち日高君は数年前に亡くなられた。日大からは水泳の古橋さんも一緒だった。当時ジェット機もあったが、日本選手のチャーター機は四発のプロペラ機で高度五千 m ぐらいの南まわりでノンビリ飛んでいた。機がペルシャ湾の上空を飛んでいる時、只今ベルリンに壁が作られたと云う報道がはいり、機内が一瞬緊張につままれた。そんな時代で国際情勢は必ずしも安定していなかったが大会自体は学生らしく明るかった。参加国は 41 カ国、選手は三千人で、競技は 11 種目、日本ははじめての参加であった。体操競技で競り合ったのはソ連で、前 GOC の会長のチトフ君もまだ学生で、ソ連選手のキャプテンだった。試合の結果は三栗君が個人総合で優勝し、団体でも日本が 1 位で笑いが止まらなかった。ユニバーシアード大会終了後、私達はルーマニア、チェコ、フランス、ドイツなどの 9 カ国を 1 ヶ月かけて回り、親善試



合やエクジビジョンを行った。

話の前がきが長すぎたがドイツでの親善試合の時、不世出の名選手シュワルツマンに、ひょっこり逢う事が出来、二、三日一緒に過ごしいろいろ話をする機会がもてたのである。

どのスポーツでも、いつの時代でも名選手と云われる人は多い。しかし名選手の定義のようなものはないし、オリンピックの金メダルの数がそのまま名選手の条件かどうか疑問である。したがって私がシュワルツマンを名選手と呼ぶのもかなり主観的なものであるかも知れない。私が学生の頃の日本の体操競技界は所謂、黎明期でわれわれが神わざの持主のように思っている日本の選手達がオリンピックに出場すると 20 位とか 30 位ぐらいなので外国の選手はどんなに上手なのだろうかと思いをたくましくした事。当時はビデオやテレビもなく視覚的な映像文化がなかったので、外国選手のスナップ的な写真を眺めて前後の技を想像するより手がなかったので、その曖昧な感じが羨望的な感情を誘発したのかも知れない。

例えばチェコスロバキアの大工さんだったと云うフデック選手のリングの十字倒立、ハンガリーのペレー選手の鉄棒のフルターン

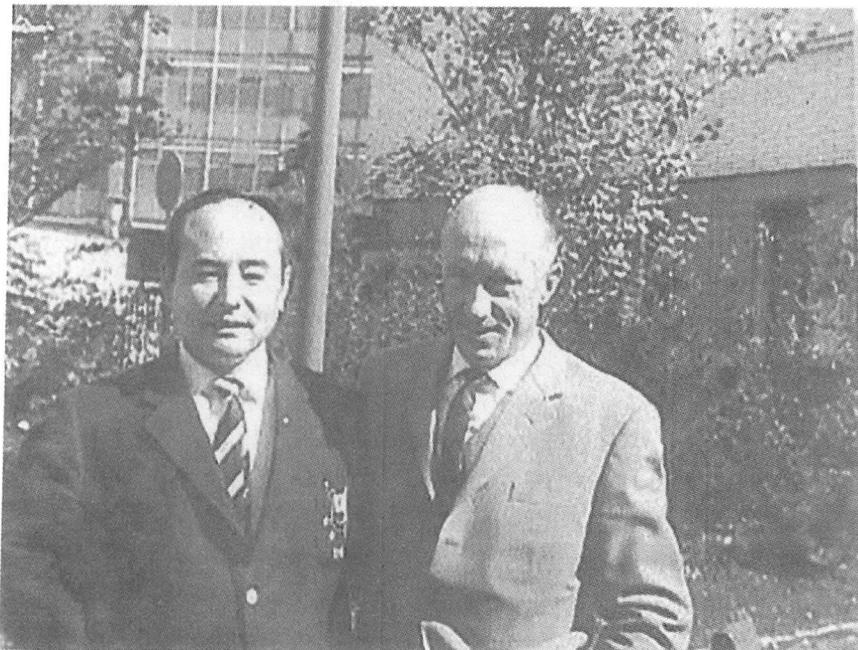
の写真などがそれであった。

しかし何と云っても一番われわれの話題になり物議をかもしたのは鉄棒に於けるシュワルツマンの開脚跳越しの写真だった。

ハーゲンクロイツの鉤十字の鷲のマークのユニフォームを着て引力を無視したように鉄棒の上を飛翔しているシュワルツマンの勇姿は魔術のように思えた。逆手車輪からの跳越しに違いないと思うが、いつ、どんな角度で手を離したらこんなに体が浮くのだろうか、バーを引くのだろうか、押すのだろうか。いろいろやってみたが解らなかった。今では中学の体操部でもやるだろうし、難度表にも載らなくなったと思われるアノ技が当時は神秘的でさえあった。

最近の体操競技に於ける技の開発は陸上競技界の新記録の樹立よりも凄まじく、一体これが体操競技界の進歩なのか隘路なのかとくびをかしげたくなるこの頃である。扱ってシュワルツマンの話である。1932年のロスアンゼルスオリンピックの体操競技には何故かドイツチームは参加していないが、次の1936年のベルリンのオリンピックでは男女

のチームが優勝しているしシュワルツマンが個人総合のメダルをとっている。其の後はじまった第二次世界大戦では落下傘部隊で活躍、マルタ島で右足を機銃でやられた。終戦後の1948年に行われたロンドンオリンピックにはドイツと日本は不参加、その次に行われたヘルシンキのオリンピックには42歳で出場し、鉄棒で2位になり観衆をうならせた。私がベルリンで逢った時は50歳ぐらいで少し脚を引きずって歩く、あまり風采のあがない小男だった。しかし、握手したら手は大きかった。まだ鉄棒は出来る。息子もドイツの十種競技選手だなどと話していた。話好の気さくなおやじと云う感じだったが前述の開脚跳越しや跳馬での閉脚垂直跳への挑戦や落下傘部隊での話まではいかなかった。今の選手達は恵まれている、俺達は地面や堅い床の上で苦しい練習をしたもんだという苦労話や日本にも行ってみたいなどと話していた。いま元気なら90歳ぐらいの筈である。二、三聞いてみたが消息は分からない。紙数もオーバーし、あまりおかしくもないお伽噺で申し訳なかった。(おわり)



最後の海外遠征

顧問 遠藤 幸雄

会報第 31 号に「初めての海外遠征」と題して載せていただいたので、第 34 号には選手生活での「最後の海外遠征」として振り返ることとする。

「あん馬」の大失敗を世間に印象づけた第 18 回オリンピック東京大会 (1964) から 4 年後、第 19 回オリンピック大会は海拔 2240 メートルのメキシコシティにて開催された。

選手団の主将は陸上ハンマー投げの菅原選手 (秋田・日大卒)。そして旗手は私が指名された。当時の秋田県知事は共に秋田出身ということで大変に喜んでくれた。結団式で団長から手渡された団旗は予想以上に重く、開会式での行進に不安を感じていた。幸い現地では軽い旗と竿うけまでついたベルトが与えられ、その配慮に感謝したものである。

メキシコ大会の最大の関心事、それは酸素不足への対策だった。日本でも生理学の関係者を派遣し対応したと聞くが、私は前年の現地遠征で砲丸大の酸素ボンベを購入して、マツト運動後に試すなど人体への影響を体験したひとりである。中でも興味を持ったのは人間自ら製造する「ガス」、しかも下からのものが出やすくなる現象だった。専門的な知識もなく笑い話として受け止めていた私を喜ばしたのは結団式だった。団長が「メキシコはガスが発生しやすいから要注意」との訓辞は生理学的にも証明を意味していたからである。さらにガスの発生理理由は食物にあり、中でも大屁源は豆類という。体操競技の「つり輪」における「十字懸垂」や重量挙げの力の入る瞬間体勢などは要注意であり食事にも気を遣った。今日まで演技中に音を出したとの噂話さえないことから、参加選手は団長の訓辞を守り精いっぱい競ったものと確信する。中でも「最も悪い豆はエンドー豆だ」という友人

もいたが反撃もできず苦笑せざるを得なかった。

閉会式も思い出深い。各国の旗手だけがフィールドの中央に円陣を組み、他の選手団はスタンドでの席を与えられた。大勢によるメキシカン・ギターの合奏は世界平和を祈らずにいられない雰囲気をつくり、やがて聖火の消えるタイミングに合わせた、ものすごい花火の演出が始まった。ところが花火に注目してから間もなく、スタンドの一部分の者が移動し始めたのである。理由は花火が燃えつきずに落下したためだった。後日、花火の演出は日系人の支援によるものと聞き複雑な心境を禁じえず、原因は技術よりも原料、また火傷や怪我人のなかったことを良しとすべしと思う気持ちが強かった。

31 歳で参加したメキシコ大会。帰国後は「アマチュアなんだ、もっとやったら」、あるいは「フラついての演技はイメージが壊れる」などの意見を周囲からいただき、後者を選択する決断をしたのである。

さて、平成 12 年度から体操部の部長に早田監督、監督に梶山コーチ、そして男子コーチに西川大輔氏が就任することになりました。

桜樹会の各位に心から感謝申し上げますと共に、新役員ならびに体操部に対しまして、より一層のご支援とご配慮をお願い申し上げます (平成 12 年 3 月 吉日)。

“つくる” 楽しさを教えてくれた

体操競技生活

3 回卒 春山 文子

ある日、パーティー会場での会話の中で、「あなたの趣味は何か」と聞かれた。私は、手芸、彫刻、体操と答えた。ところがカナダの男性が「体操が趣味？」と聞き直された。

その人から、「普通、我々の国では趣味に

スポーツは入れないよ」と言われたので、説明不足を補って「私は体操の動きをつくるとか体操の手具をつくること」と付け加えたのである。

帰宅後、日本語大辞典で趣味を引いたところ、①感興をそそるようなよさのあること、②仕事ではなく、楽しみとしてすること。創作、製作、鑑賞、収集などホビーとあった。言葉足らずから思わぬ確認をするようになったのである。もちろん、私の趣味とは、楽しみとして創作、製作するという意味に使いました。と言うことで私の趣味は“つくる”ことである。

私は、日常生活においても、オリジナルなものをつくるが、既成のものもそのまま使わず、自分に適するようにどこか工夫することが好きで、試行錯誤し考え・つくる・活用することを趣味にしている。

私が創作、製作する物は、日常生活で使う物で、オリジナルな洋服・洋品・生活用品・体操手具である。自分で求める物を手づくりすることは、私の中学・高校時代の頃から始まったのである。例えば、段違い平行棒で使うためのプロテクター、平均台用のシューズ、そしてレオタードとアンダーウェアまで手づくりしていた。また、新しい技も思いつくと見通しが確認できるまでその技に熱中し体力の限界まで練習を止めなかったこと、試合の度に自由問題を考えてつくるなど、指導者がその場にいた訳でもなく、強制された訳でもなく、自由な創造的活動を楽しんでいたことが思い出される。

学校生活全体が体操中心の毎日で、日常生活に体操がすっかり位置づいて習慣化されてしまったと言えるのである。体操競技を通して身についた“つくる”楽しさは、現在まで続いている。

現在は一般体操の手具を考案し、手づくりして活用している。正に趣味と実益を兼ねて楽しんでいると言えるのである。何故ならば、

私は昭和 37 年に文理学部教育学科体育専攻（現在の体育学科）を卒業後、教育研究の職にあり運動方法を専門としているからである。勤務校（実践女子大学）の女子大学生や社会体育の生涯学習者が楽しく動けるように遊び感覚で楽しめる手軽な手具をつくっている。

例えば、健康体操を楽しみながら続けられる手具、基本的な動きを身に付けやすくする手具としてオリジナルな「体操用お手玉」・「のびる輪」…などである。

私にとって考えたり、つくる時間は趣味の領域にあたる。勤務時間以外の自由時間にアイデアやヒントが生まれ、すぐに行動に移すのである。私は「思いつき」を大切にしている。なぜなら、学問の展開においても、趣味においても、その場に適した「思いつき」が必要と考えているからである。言うまでもなく「思いつき」とは、「工夫、着想」の意味においてである。

良いものをつくるためには、日頃からいろいろなイベントに出向いて、人・物・場のコミュニケーションも重要である。動的な仕事時間と観る・聞く・考える・つくるといった静的な趣味の時間とのバランスを取り、いつもさわやかに生き生きと動けるようからだと対話しながら、趣味と実益をジョイントした生活を楽しんでいる。

体操を生涯の友とし、Active に、Balance よく、Creative に過ごしたいと思っている。顧みれば学生時代に体操競技で培われた“つくる”楽しさが今日の生活をエンジョイする基礎となっていると自負している。

追伸 これまで私の考案した体操手具の一つですが、日本体操祭やジムナストラダ（世界体操祭）で発表した手具「オリジナルふろしき」がスポーツタイム社（アメリカ）の日本製品第一号として「ムーブメントふろしき」の商品名で発売されました。幼児から高齢者、障害者など幅広く活用できる手具です。どう

ぞ活用してみて下されば幸いです。

販売先 (株)ニシ・スポーツ、スポータイトム社

Tel 03-3637-3310

我が懐古と期待

6回卒 仲西 盛光

早三十五年の歳月が過ぎ今や老いるのみ、昔話を語ることになるが、しかし、心は未だ青春の感深く同級生とは、学生の頃と変わらない。

学生時代の思い出は全国各地域からの寄り集まりの中で幾多の親しい友人が生まれ又、知己が得られて今なお、年月を経てもお付き合いが続いている。それは、同じ大学に学んだ恩恵である。

社会性は学生時代に学んだ総合的な学習の結果により身に付いて、今日の自分を形成し長い年月を苦あり楽ありの人生の中で自分自身の努力と周囲の協力、激励の賜物であることに感謝している。お陰様で社会的な地位を賜り、家族に恵まれて尚、過ぎし日を懐古できるのである。

学生諸君、青春を大いに楽しみ友と語れ！学校の授業は真面目に受けて親の愛情に応えよ、単位は充分に取得し、尚、余りある時間を免許取得に励めよ。人生死すまで学習の時代である。若い時代に培った感性はきっと将来の君に還元されるでしょう。さらに出来ることなら、人に優れる趣味を持ち将来における生涯学習の基礎を培うようにすべく稽古事にも精進せよ、又、日本人としての資質で大切な長幼の精神を備えて人として恥じない人間に育って欲しい。「墨は知っても物は知らん(大学は出て常識は知らない)」そんな人間にはなる勿れ！

近年国際化や情報化の変化の著しい中で地球規模の発想が欧化して、日本人の美、心の教育が荒廃して今や、学校においては大きな問題となっている。今も昔も子供は子供で

あるが社会の変化が子供の心を荒廃させている。忍耐力に乏しい子供がいる。物質的に恵まれた現在の世の中に生を受けた子供がいる。全て大人の責任ではないが、助長していることもある。

21世紀を背負う諸君大いに青春し、目標を持って今を楽しみ、我が青春に悔いを残すなそして未来に雄飛せよ！

現在は中学校に勤務しているが、家族と離れての気儘な独身生活である。お馴染みのトライアスロンで名の通っている宮古島に来て三年目になるが生徒数 86 名の小規模校である。地域はサトウキビの生産が盛んな農業中心の地域にある学校です。

自然と空と海に囲まれたきれいで人情味ゆたかな島です。那覇から 300 キロの離島であるが生活は豊かで人口は 6 万人足らずです。

山はなく平坦な島であるため交通の道路標識は少ないので方向がわかりにくいのが観光をしての難である。だが、道路はキビ畑までも舗装がされており安心して車は運転できるので距離と時間が都会とは反比例する長閑な島です。

思いつくままに書きましたが至らない点は平にご容赦願います。

近況報告

12回卒 森山 理

私の住んでいる村松町は、加藤澤男氏を生んだ町です。私も、澤男さんが中学生のころ小学校の体育館で練習しているのを見て、憧れて体操を始めました。中学校・高校・日大そして社会人となっても体操を続けていました。現在は体操を止めてから 15 年くらい経ちます。何も体を動かしておりません。ために、倒立などを行っても静止ぐらいはできますが、その直後には、目の前に星が舞ってしまいます。

さて、当町にも小学校 1 年生から 6 年生を

対象としたジュニアの体操クラブがあり、私が以前教えた子ども達が指導員として頑張って体操の指導を行っています。しかしながら、2つある中学校の体操部が3年前から休部の状態となってしまいました。

そんな折、町議会で「村松町は、体操の加藤澤男選手を生んだ町である。ジュニアで一生涯懸命練習して中学校へ進んでも体操部がない。子どもの力を十分伸ばしてやるのは、学校の仕事であるが、指導者が得られないので部活動ができないというのは問題ではないか。」また、「部活動のために民間指導者を求める可能性を示せ。」という質問が出されました。何しろ人口21,000人あまりの小さな町であり、いろいろ指導者とも話し合いましたが、指導者も自分の仕事を持っているので、学校へまで行って指導は無理といった結論に達しました。そこで、苦肉の策として「中学生には、町民体育館で毎週月曜日、木曜日の午後7時から9時に練習しているジュニア体操の人たちと一緒に練習すれば、特別に中学校の部活動として認める。」ということになりました。このことにより、ジュニア体操クラブに所属していれば、学校の代表として中学校の体操大会に出場できることとなり、体操の火が少しながら灯ってきました。これを機に、以前のように体操が盛んになることを願っています。

最後に、新潟県出身の体操選手が日大に多く入ることを望み、桜樹会のますますの発展と皆様方のご活躍を祈念いたします。

会報第34号発刊に寄せて

14回卒 森田 博

まずは、卒業して30年近くになる私にまで原稿のお声を掛けていただきました事務局並びにこれを支える皆様の思いやご努力に敬意と感謝を申し上げます。

流石に、鉄棒での車輪をしている夢は、し

ばらく見なくなりまして、目の前の人たちとの関わりの夢が多くなりましたが、14期卒業の仲間達は幸いにして、年にいっぺん顔を合わせて、食事を摂りながら親交を暖め、翌日、早田先生をお囲みしての“早田杯ゴルフ”は、今や、遠い昔の生活につながる楽しい一本の綱と申して良いと思います。当時からそうでした、尊敬してやまない五十嵐久人君を柱に同じ思いで、集まる一人ひとは、それぞれが、人生の証としての存在で、今ある生活にも大きな原動力になっているのであります。その間、私達の仲間でありました中島孝君という大きな星が、他界したことは痛恨の極みでありました。共にお互いの命を考え合う機会にさせてくれました。彼が残してくれた物は実に大きかった。

卒業して、中学校にしばらく勤務し、現在は、幼稚園を運営しておりますが、体育原理でしたか、担当の藤田先生が「ボウリングとゴルフは、この狭い日本の風土に合わない、必ずつぶれる」というような主旨のことを、雑談でお話しされたことが記憶に残っておりまして、長い間、「50歳までは絶対やらない。いい仕事をしていきたい」などと、かたくなに遠ざけておりましたゴルフなのであります。この集まりに参加することになってから、皆に会える懐かしさもあいまって、昨年から練習場に、毎夜通う生活になって参りました。ゴルフをのたまうのは、大先輩方を差し置いて、大変、僭越ではございますが、あるところでゴルフの戯歌に出会いましたのでご披露申し上げます。

ゴルフ枯山水（スコットランド戯歌）

『飛距離が自慢の幼稚園、スコアーにこだわる小学生、景色が見えて中学生、マナーに厳しい高校生、歴史がわかって大学生、友群れ集う卒業式』

私は、幼稚園入園前といったレベルでございますが、今や卒業式だけは毎年経験させていただきます。お待ちしております。

それぞれのお立場でご活躍の卒業された皆様方も大学への思いは皆等しく、日大体操部の発展です。今後とも、ご縁で“桜樹会”に籍を置かせていただいている多くの卒業生のために、ご関係の皆様方のご尽力にご期待申し上げます。結びとさせていただきます。

合掌

「熊本未来国体」を終えて

16回卒 錦井 利臣

熊本で開催される、2巡目の国民体育大会を迎えるに当たり、熊本県体操協会では4年前から実行委員会を組織し研修と視察を繰り返しつつ、同時に選手強化に当たってきました。しかしながら、体操人口の減少に伴う選手層の薄さと力の差の激しさに悩みを抱えていました。そこで、国体開催県に習いアドバイザーコーチとして男子体操競技に恩師である早田卓次先生に指導を仰ぐ事になりました。女子のアドバイザーとして塚原千恵子先生になっていただきました。先生方には度重なる強化合宿に忙しいスケジュールを調整してもらい指導していただきました。先生方の的確なアドバイスに強化スタッフはじめ選手たちに大きな力となったことは言うまでもありません。

成年男子に日大卒業の小林正明選手、今木重行選手を迎えることもできましたし、また、少年男子監督に13期卒の徳永富夫先生が、成年女子監督に錦井利臣、コーチに錦井房美（期間中は審判員）の5名が桜樹会員で私たちにとってこれ以上心強いアドバイザーは考えられませんでした。

早田先生は選手の競技力向上のみならず、大会運営の為の設営にも自ら汗だくになりながらお手伝いいただきました。体操競技に関わる者としてのひたむきな姿勢を見せていただき、役員一同感謝申し上げますと同時に今後の努力目標にしたいと気が引き締まる思

いでした。

大会2日目、例によって桜樹会を開催しましたところ全国役員・選手たち約40名が集まり楽しいひとときを過ごすことが出来ました。その中には私達の同期8名が参加してくれており、参加者全員で近況や懐かしい話で盛り上がりました。また、桜樹会閉会間際には「日大節」の一説が飛び出し、久しぶりに大声を出しつつも、結構忘れていないものだと感動したりもしました。会員のみなさん、全国大会規模の試合があるときは少しでも声を掛け合って桜樹会に参加しましょう。

大会の方は皆様のお陰をもちまして、熊本県は天皇杯総合優勝を遂げることが出来、選手ならびにアドバイスをいただいた先生、表には現れることの無かった役員の皆様に敬意を表すと同時に、重責から逃れられた気持ちでホッと一安心しております。

もう一つ、内輪の話で恐縮ですが、この大会には錦井家全員で参加させていただきました。つまり、私ども夫婦はスタッフとして、長男浩樹は鹿児島成年男子選手、長女智子は熊本少年女子選手、次女瞳は総合開閉会式のアトラクションの一員としてこの期間に関わり、入れ替わりの強化練習や合宿など、すれ違いの日々の連続でしたが、それを支えてくれたのは母（76歳）でした。食事や入浴準備に大変世話になったと感謝しています。

一つの大イベントが終わり、たくさんの経験と思い出を残すことが出来、皆様に感謝申し上げます。

平成13年には熊本で高校総体が開催されます。またその時にも皆様とお会いできることを楽しみに頑張るつもりです。

最後になりましたが、日大体操部の益々の活躍と、桜樹会の発展を祈念し、雑文を終わりとします。

私の生涯スポーツ・体操

17回卒 広川 優子

早いもので卒業してから25年。この間からずっと何らかの形で私は体操と関わり今日に至っています。

卒業後、青年海外協力隊員として3年間、中米コスタ・リカ共和国にて器械体操の指導に当たりました。できの悪い私が体操部に在籍し諸先輩方達の良きアドバイスがあったればこそと、感謝しています。

協力隊の活動は主に体操の底辺拡大と普及という大変なものでした。豊かな国から物資の乏しい国。アメリカ、ドイツなどの指導者もすでに入っていたので本当に現地の人たちには頼りない指導者に映ったに違いありません。器具もないのでベッドを作る工場に行き、マットを作ってもらったり、材木工場に行き平均台を作ってもらったり…。一体私はここに何をしに来たのかと考えてしまうこともありました。堅い頭を柔軟にし向こうのリズムに合わせるのに2年位かかりました。しかし素晴らしい経験をさせていただいたと思っています。

現在は、健康作りのための体操（エアロビクス、ダンベル・チューブ体操など）指導のお手伝いをさせていただいています。

運動も生活習慣病と深い相関関係が裏付けられ、益々日常生活での取り組みが注目され、特に私は「生活の中の運動」を呼びかけています。機械化が進み、歩くことも少なく、同じ姿勢で大部分のことができるようになりました。意識して体を動かさないとどうしても運動不足になり、諸症状が出てきます。

高齢化が進み、我が村では人口の20%が60歳以上です。田舎でも歩く人の姿はめっきり少なくなりました。畑にも車で移動する時代です。保健所の方々と市町村をまわり、運動の勧めらしきことを話すことがありますが、まだまだ作業と運動の違いを理解してもら

のは大変です。でも一緒に体を動かしてみると気持ちいいとか軽くなったという実感とともに、そのよさを少しでも味わってもらえると嬉しいです。

これからも、いろんな形で体操を通じ、人のお役に立てればと思いつつ、体が動く限り続けていこうと考えています。

最後になりますが、桜樹会の今後のご発展をお祈りいたします。

挨拶の大切さ

23回卒 宮川 直

失礼します。熊本県、東海第二高等学校出身、宮川直人です。よろしくお願ひします。

「こんにちは、失礼します。お願ひします。ありがとうございます。失礼します。」それでは失礼して一曲歌わせていただきます。

声が小さい、やり直し…。

新入生が、自己紹介をするための練習である。夕食後、何回も何回もやり直しをし、練習をしたことを思い出す。

「失礼します。学校へ行って参ります。」

「失礼します。買い物当です。何か、買い物は御座いませんでしょうか。」「失礼します。ただいま帰りました。」「はい、日大学生寮体操部です。一年生の宮川です。」等など、もう20数年前のことではあるが、まだ、はっきりと覚えている。あの頃は、何の疑問も持たず、ただ繰り返していたが、最近ようやく意味が分かるようになってきた。

先日、保護者会の席で、話をする機会をいただいた。

学級崩壊という文字が、新聞紙上によく出てくるようになったが、保護者の思いを聞くために、ある記事を紹介した。

成人式の際、講師の方が、あまりのざわつきに、壇上から私語を慎みなさいと注意された。話を聞きたくなかったら、退席しても構いません。と言ったら、本当に出ていってし

まった。

会場では、携帯電話は鳴るし、玄関前には、たばこの吸い殻が散乱している。おまけに、がんぐろが、着物を着てたばこを吹かしている。今の世の中どうなってしまったのか。という嘆きの投書だった。

何が原因なのか、一緒に考えましょう。と問いかけた。そうしたら、今まで喋っていた保護者が話を止め、啞えていたガムを吐き、携帯の電源を慌てて切る姿が見えた。

原因はいくつもある中で、子供たちを取り巻く環境に問題があると思うし、その環境を作っている我々大人にも責任があると感じた。

学校では、偏差値偏重の受験教育になり、道徳の時間がないがしろにされ、人間教育がおろそかになってきている。

家庭では、父親不在で、母親がどのようにして、何をより所にして子育てをしたらいいのか、分からなくなってきている。確かに、今の学校では、礼儀や挨拶、掃除が軽んじられ、敬語も使われなくなってきている。

学校の近くには、あいさつ通りはあるが、学校内でも、あいさつの声が聞こえない。

小学校では、敬語を習っているはずなのに、教師と子供たちが友達のように話している。楽しく話しているのはいいが、敬語ではなく友達感覚である。はたして、このまま社会に出て大丈夫であろうかと心配してしまう。学校という所は、勉強もさる事ながら。社会に出てから生きていくための力、いわゆる社会性を身につける所でもある。

ある教師は、あいさつというのは、強制的にさせるものではなく、自然にできるようになるもの、敬語を使えない子供達が離れていくし、仲良くなれないので、強要はしていないという。その反面、教師や親に向かって暴言は吐くし、すぐ、むかつく、切れたという子供達がやたらと増えた。

掃除にしても、一生懸命頑張っているのは、子供達ではなく、先生達である。

今、何が必要なのか考えてみると、日大体操部で教わった、掃除の仕方や礼儀の大切さ、「こんにちは、失礼します。お願いします。ありがとうございました。失礼します。」等のあいさつだと思う。

保護者会では、基本的なこと、忘れかけていることを家庭や学校の様々な場面を通して、子供達に教えていきましょう、と締めくくった。

青森県の現状

28回卒 河島 勝行

櫻樹会費もろくに払っていないのに会報が来た時は払わないといけないなあと思いつながらも忙しさにかまけて振り込んでいませんでした。申し訳ございませんでした。

そんな折、会報の原稿依頼が届きさて、何を書いたらよいか迷った末、我が県の体操の現状をお伝えすることとしました。

先ず最初に、体操人口が激減していること。指導者の世代交代がうまくいっていなかったために、指導者が少なく、今まであった部活動は指導者が転勤することで廃部になっていくし、新設をお願いしても、生徒数が減っているために教師の数も減っているのでも顧問の数が足りず、他の顧問を依頼されたり、既存の部活動との場所の問題やら予算の問題やらあってできない状態で体操と出会う子どもたちがどんどん少なくなっている現状です。ですから、大会を開いてもかつての勢いどころか寂しさを感じる大会になっています。

また審判を引き受けてくださる方も年々高齢化していき、書き替えもしなくなり、そのために、大会運営をする協会側としては参加料や手続き料が減収になっていっているのでも、協会の財政も毎年赤字財政で困っているところでもあります。

しかしながら、このまま、手をこまねいて

いるわけには行きませんので、一人でも二人でも体操人口を増やし、体操の強い青森県を目指して頑張っていきたいと思っております。

<OBで頑張っておられる方>

- ・青森山田高校 (平野 昌宏)
- ・弘前学院聖愛高校 (大和 孝三)
- ・三本木中学校 (小比類巻英夫)
- ・弘前南中学校 (小生)

体操を通じての体験

33回卒 三富 洋昭

私は現在、新潟県の高校に勤務しています。最近、体操部員も減少し、体操部のある学校が非常に少なくなってきました。現在、私の勤務する学校も体操部はありませんが、体操には地域のクラブの方で関わっています。社会体育なので小学生から中学生、高校生と一貫して関わっていくことができるのでとてもやりがいがあります。しかし、大学を卒業してからこれまでは、私自身、社会人大会を目標に練習をしていたので子供の指導ということはあまりなかったのですが、最近では、自分の練習というよりも指導の方が領域を占めるようになり、指導することの難しさを実感するようになりました。とにかく普段は、勤務を終えると真っ先に体育館に向かいます。

平成11年度は、委託審判部員として世界選手権二次予選会、NHK杯、全国中学校大会、全日本社会人大会、そして、全日本選手権大会を経験させていただきました。全国大会の審判は初めてで、自分にできるだろうかとても不安でした。しかし、その事によって体操の勉強をする機会をいただくことができましたし、また、いろいろな経験をさせていただくことができました。このような場に日本大学の一員として参加させていただくことで体操を続けていけることは私にとってとても幸せなことだと思っています。

このような中で、大会そのものには直接関係ないのですが、ちょっとした体験を書きたいと思います。

・NHK杯の時、広島に向かう新幹線の中でのことです。私は、東京駅で3人掛けの一番奥の席に座っていました。発車の時間が迫ってくると親子連れが隣に座ってきました。それは母親と高校生くらいの年頃の娘さんでした。お昼近くになると隣の2人はお弁当を食べ始めました。私は、一番奥の席だったのでトイレにもちょっと立ちにくいし、弁当やコーヒーなど売りに来ても隣の二人越しにはちょっと買いにくいなあと思いじっと我慢していました。しばらくして母親が席を立ちました。ここで私も席を立ち、車内の売店へお弁当を買いに行きました。そして、席に戻り、食事していると、母親は車内販売でアイスクリームとコーヒーを2つ注文しました。すると、「コーヒー良かったらどうぞ」と。なんで自分にコーヒーなんかとしばらく考えました。そのお婆さんは僕の気持ちを分かってくれていたのだと思います。見ず知らずのたまたま隣に座っただけの人に、とてもうれしい気持ちになりました。その親子連れは、岡山までの切符を持っていました。話を聞くと「二十四の瞳」で有名な瀬戸内小豆島から来たのだとか。それから体操の話やいろいろな話をして新幹線の中を過ごしました。親子が新幹線を降りたらもうお礼ができないと思い、ちょうどつけていた'98ワールドカップ鯖江大会のマスコットのキーホルダーを娘さんに渡しました。とても喜んでくれました。こんなことも体操を通じてあるんだなと何気ないちょっとした心温まる体験をしたような気がします。

それから、最後になりましたが99全日本社会人大会は、新潟は吉田町で開催されました。地元でこのような大きな大会が開催されるとは夢にも思っていませんでした。大会運営の方も少しお手伝いをさせていただき、貴重な

経験をさせていただきました。桜樹クラブ・他所属の桜樹会の方々、日大関係の皆様からお越しいただきご支援いただいたことにとでも感謝しております。ありがとうございます。今後も桜樹会・日大体操部のご発展、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

Nマークをつけて

37回卒 吉田 義経
会報に載せていただくのは、31号に続き2回目になりました。現在も、以前と同じ高等養護学校にいます。

4年間、養護学校で仕事をしてきましたが、今年度卒業生を出し、自分も転勤することになります。広い北海道、その中のどこに行くかわかりませんが、どこに行っても体操に関わりたと思っています。

日大の同期(37回卒)で選手を続けているのが、私一人となってしまいました。企業で続けていくのが難しくなってきた現状を見ると仕方ないことなのですが、一人、また一人と同期の現役選手が減っていくのは、大変残念なことです。

ただ、私が現役を続けているといっても、私の中では、学生時代の体操を一つの区切りとして、上を目指す選手という立場からは身を引いています。

現在は、練習時間を確保するのが難しいので、けがをしないようにというのを前提に、学生の時とは違った体操を楽しんでいます。また、審判をしたり、選手育成などに関わることにより、私にとって違った方向からも体操を見ることができるようになってきました。

また、学生の頃はあまり感じたことはありませんでしたが、卒業してからというもの、日大関係の先輩や同期、後輩が大会で頑張っている姿を見たり、良い成績をとると、嬉しく思い、夢中で応援するようになりました。もちろんこれからも応援し続けるつもりです。

昨年度、初めて桜樹(N)マークをつけて社会人大会に参加させていただきました。3年ぶりにNマークをつけると、懐かしさもありましたが、日大という何かに包まれているというか、何かに守られているという心強さを感じました。

しかも、尊敬する西川大輔さんが試合についてくれたので、大変心強く、私にとってとても良い思い出になりました。前日の1部の試合で大変疲れているにもかかわらず、そんな素振りさえ見せずに、気を遣っていただき、私は自分の試合のことだけに集中することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。試合には、日大桜樹クラブとしてチームこそ組むことができませんでしたが、私より8歳年上の先輩がゆかでムーンサルトを実施したことは、私の心に大きな感動を与えてくれました。

社会人大会の結果は、私の個人総合4連覇ということになりましたが、もちろん私だけの力だけで得たものではありません。いずれにしても日大桜樹という名前を残すことができ、今回は格別の優勝となりました。

さて、選手という形だけでなく、審判員として全国規模の大会に参加するようになってきた私は、お世話になった諸先生方、仲間や友人、先輩や後輩に再会する機会が増えました。選手として頑張っている姿や優秀な選手を育てコーチとして大会に参加した方々との会話は、自分の励みとなり、体操についての視野の広がりと共に貴重な私の財産となっています。この財産を大切に、私もそうした財産を提供できるように頑張りたいと思います。

最後になりましたが、社会人出場に対する桜樹会の皆様のご支援、ご協力に対し、心よりお礼申し上げます。また、今後の桜樹会と日大体操部の益々のご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

男子体操部練習内容と環境

男子主将 高橋 勇騎

現在私たちの練習は、6時45分起床と共に行う、15分程度のザリから始まり、昼休み12時30分より20分間の昼補強、そして授業終了後、本練習を4時20分より7時30分まで行っています。

練習状況は、3つの班に分かれ、4年生を班長として、各学年が均等になるよう分けられています。

練習内容は梶山監督が練習の状態を見て練習計画を立て、その計画に基づき、学生コーチ、選手それぞれが自分の目標を持ち、その目標を達成するよう、日々練習に励んでいます。特に日大は、つり輪や跳馬の得点が伸びないので、つり輪では、トレーニング法をいろいろと工夫したり、跳馬では、練習時間を多くして、積極的により高難度の技を目指して頑張っています。また、他の種目でも、各自がどうすればよりよい体操を習得できるか考え、アドバイスし合い、より内容の濃い練習を行っています。

4月からは、西川先生が正式に日大体操部のコーチになられるということで、体操部にとって大きなプラスになることと思います。

昨年、全日本インカレ、全日本と、団体が3位にも入賞できず、全日本に至っては7位という結果に終わりました。その後、みんなで寮の食堂に集まり、これからの練習についていろいろと話し合い、この悔しさを忘れずに、今年は絶対全日本インカレで団体優勝しようと誓い合いました。今年こそは全日本インカレ団体優勝を勝ち取れるよう、部員全員が一丸となり、頑張りますので、よろしくご指導ご支援の程お願い申し上げます。

男子体操部生活内容と環境

男子総務 濱崎 誠

現在男子部員は、4年生7名、3年生8名、2年生8名、1年生7名の合計30名が八幡山総合学生寮で生活を送っています。

1日は起床と共に行うザリに始まります。それを終わると、朝食をとり食堂に向かい、自分の好きなものをおぼんにのせて並べて食べています。朝食を済ませた者は、授業を受けに学校に行きます。そして昼休み20分間は補強をし、各自筋力アップに励んでいます。授業のある日の練習は、4時20分から7時30分まで行っています。練習後は寮に帰り、8時30分から食堂で夕食をとります。食後、和室に移動し、そこでミーティングをしています。ミーティングでは、明日の予定、明日の練習時間、寮生活での諸注意を話し合っています。

昨年の12月より、古い寮から新しい寮へ移動してきました。体操部が使っている場所は1階で、部屋数は、2人部屋9部屋、和室1部屋です。2人部屋は4年生、3年生、2年生が入り、和室は1年生全員が入って生活しています。前の寮では1年生が食事の用意をしていましたが、今は学生食堂ができ、時間になると食べられるようになりました。そのため、1年生は食事を作らなくてもよくなりました。ただ、食事の後片付けを各クラブが持ち回りで行うため、時には練習時間を削り、その仕事に従事します。古い寮ではいろいろな問題がありました。夏では寮の中が蒸しかえるほど暑い日があったり、冬になると寒さに凍える日もありましたが、この新しい寮は、部屋ごとに冷暖房完備で快適です。そしてゴキブリ、ネズミ問題も解消されました。

昨年は、怪我人が多く、選手達は試合で自分の力を発揮することができず悔やんだ試合がありましたが、今年こそは全日本インカレで優勝を成し遂げられるよう、部員一丸とな

って精いっぱい頑張っていますので、今後ともよろしくご指導、ご支援の程お願い申し上げます。

女子体操部練習内容と環境

女子主将 関根 彩

現在私たちの練習は、6時45分起床と共に行う朝ザリから始まり、昼休み12時30分より20分間行う昼補強、授業終了後の4時20分より7時30分までの本練習を行っています。

練習状況は、シーズン中の通しに生かせるよう冬場に陸上トレーニング、補強の日を作り脚力の強化、平均台、平行棒の基礎練習を行っています。そして体力をつけ、東インカレ、全日本インカレに向け、日々努力を重ねていますが、'98年の東インカレ以降、団体総合でのメダルを手にすることができずにいることが現状です。そのため、女子部員でミーティングを行い、東インカレ、全日本インカレ共に上位3位以内に入るという目標を立て、その目標に向かってより内容の濃い練習を行うため、班に分かれ互いに励まし合い、木村先生、長澤先生、学生コーチの適切なアドバイスを取り入れ、試合で失敗する演技をしないように日々練習を重ねています。

しかし、体操競技には怪我がつきものです。部員の中にも何人が怪我人がおり、練習に専念することができずにいます。そのため、フリーの日などには治療に通い、一日も早く回復できるようにしています。

これ以上怪我人を出さないよう、各自、自己管理をしっかり行い、部員全員が一丸となり、目標が達成できるようがんばっていきたいと思います。

これからも今まで以上に、私たちにご指導ご支援の程お願い申し上げます。日本大学体操部として美しい体操を目指します。

女子体操部生活内容と環境

女子総務 井野 里奈

現在女子部員は4年生5名、3年生4名、2年生5名、1年生4名の合計18名で合宿所生活を送っています。

私たちの1日の生活は、6時45分の朝ザリから始まります。公園での軽いトレーニング、柔軟の後、合宿所に戻り食事当番の作った食事を摂ります。その後、授業のある者は学校へ行き、ない者は、治療を受けに病院に通ったりしています。天気の良い日は、各自布団を干し、洗濯機は止まっている時がないほど、皆こまめに洗濯しています。

合宿所では、衛生に気を配り、風邪や病気予防のため、掃除、換気に十分注意しており、各部屋から楽しそうなおしゃべりと共に、掃除の音が聞こえてきます。

練習は、昼休み20分間の補強を中心とした昼練習と、4時20分から7時30分までの本練習を行っており、本練習が終わると、皆で体操場の掃除をしています。その後はすぐ合宿所に戻り、夕食を摂ります。食事の面でも栄養のバランスを考え、魚の日、栄養日を設けています。食事当番も1年生から4年生までの交代で、少しでも多くの食品を使った料理を作るよう、心掛けています。夕食後は10時30分の門限まで、各自銭湯に行くなどして1日の疲れをとります。

現在の部屋割は、3人部屋が2つ、2人部屋が6つになっており、学年もバラバラに組んであります。各部屋からはいつも楽しそうな笑い声が上がり、体操場とは違った、リラックスできる場所になっているようです。

これからも、部員一丸となつてがんばりますので、ご支援、ご指導の程よろしく申し上げます。

東北ブロック活性化に向けて

7回卒；佐藤 勲

去る3月18日に、遠藤幸雄先生の「世界体操殿堂入り」祝賀会の折り、桜樹会総会が開かれた。

その中で標題にもあるように、石井会長から「地方ブロックが低調なので、活性化のために何かよい方法はないか」意見を求められた。出席した会員諸氏より様々な話題がでたが、結局「決定打」はなかったように思う。この件については、東北ブロック幹事をしていることもあって、かねてより責任を感じていた。多分、発言内容も弁解めいたものになってしまった。「もっと本気になって考えて欲しい」という檄とともに、本原稿依頼となった。

今、最も活発で元気なのは九州ブロックだという（あやかりたい）。残念ながら東北ブロックは低調だ。桜樹会会員も、700名を越え、先輩後輩の年齢差は、親子以上の開きがある。「あっても挨拶もしない」会員がいても何ら不思議はない。

そこで山形の宇野君（第11期）とも相談し、まず手始めに東北ミニ国体などの大会時に懇親会を開いては、ということになった。大会

には審判、監督、役員など多数顔をみせる。地元及び近県の会員も参加しやすいからだ。

懇親会のメリットは、

①旧友を温め、近況を確認し、以後の生き方（人生）にプラスすること。

②選手指導や強化のための情報交換ができること。

③大会の耳よりな情報？が入手できることがなければならぬ。

今年（2000年）秋には、仙台市で全日本選手権大会が開かれる。幸い事務局より経済的援助も取り付けた。東北ブロック会員60名のうち取りあえず宮城県と隣県の方々に案内状を出してみてもと考えている。好評なら次の開催地へとローテーションもできる。

「あの人も日大OBだったのか」が分かれば世界も広がろうというもの。

その節は、OB各位の全面的な御協力、御支援をお願い申し上げます！

折りしも建設省が「住宅着工が3年ぶり増」の発表、少しは明るいきざし。ブロック活性化と景気は、無縁ではない。

※お忙しいところ誠にありがとうございました。今後とも、日本大学桜樹会を素晴らしい会に発展させるためにご協力くださるようよろしくお願い申し上げます（会報への原稿募集につきましては巻末をご参照下さい）。

平成 11 年度 事業および行事報告

月	日	事業および行事内容	場 所
4	24	平成 10 年度総会・懇親会	新宿；サンルート東京
5	2～3 29～30	世界選手権 2 次予選・ユニバー代表決定 (応援) 東日本インカレ (応援)	千葉；船橋市総合体育館 町田；町田市総合体育館
6	5～6	NHK 杯・世界選手権代表選考 (応援・懇親会)	広島； 県立総合体育館グリーンアリーナ
8	2～4 4～7	インターハイ (懇親会) 全日本インカレ (応援・懇親会) 会報第 33 号および 1999 会員名簿 発行・発送	岩手；盛岡市アイスアリーナ 町田；町田市総合体育館
9	9～11	社会人 (選手派遣・応援・懇親会)	新潟；吉田町総合体育館
10	14～15 24～27	関東学生新人・交流 (応援) 国体 (懇親会)	千葉；船橋市総合体育館 熊本；熊本県立総合体育館
11	12～14 27～28	全日本 (応援・懇親会) 忘年会 (有志)	富山；富山市総合体育館 熱海；ホテル貫一
1	22	新年会 (有志)	新宿；栄寿司二号店
3	12 18	第 1 回役員会 平成 11 年度総会・懇親会	日本大学文理学部第二体育館 新宿；サンルート東京

※早乙女貞夫氏 (3 回卒) が関東学生連盟会長に就任されました。

※日本体操協会 1 種審判員認定試験合格者 (日本大学桜樹会関係者のみ)

金野 東 (31 回卒)、松永政行 (33 回卒)、西川大輔・君嶋孝之 (34 回卒)



平成 11 年度 競技会成績報告

25;遠藤幸一、31;長澤郁子、34;君嶋孝之

- ・ 世界選手権 2 次予選
ユニバーシアード代表決定
- ・ 第 33 回東日本学生選手権
- ・ 第 38 回 NHK 杯
世界選手権代表選考
- ・ 第 53 回全日本学生選手権
- ・ 第 32 回全日本社会人選手権
- ・ 関東学生新人選手権
関東学生交流選手権
- ・ 第 54 回国民体育
- ・ 第 53 回全日本選手権

(順不同)

※社会人大会に日大桜樹クラブ（男女、1・2部）として出場希望の方は、事務局まで文書（またはFAX等）にて必ず連絡してください（年齢制限なし）。なお、選手登録および参加申込の締切り（毎年5～6月頃）のため、早目をお願いします。



(絵；濱田靖一顧問)

1999 ユニバーシアード予選

船橋市総合体育館

1999/5/2-3

男子		個人成績		ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
学年	順	選手名	所属							
	1	塚原 直也	明治大学	8.850	9.400	9.250	9.600	9.250	9.250	55.600
	2	斎藤 良宏	大和銀行	8.500	9.200	9.500	9.325	9.200	9.350	55.075
	3	笠松 昭宏	徳洲会	8.250	9.700	9.000	9.400	9.150	9.200	54.700
	4	小川 泰弘	順天堂大学	8.950	8.600	8.800	9.650	9.100	9.100	54.200
	5	山田 辰世	大和銀行	8.700	8.800	9.400	9.000	9.200	9.000	54.100
40期	17	今本 隼行	熊本県教諭	8.500	8.600	8.700	8.450	8.900	9.000	52.150
3年	19	加藤 芳隆	日本大学	8.450	9.050	8.150	9.100	8.600	8.650	52.000
4年	20	平本 将人	日本大学	8.500	8.300	8.400	9.300	9.200	8.250	51.950
3年	29	高橋 勇樹	日本大学	8.150	8.700	7.150	8.650	7.700	8.850	49.200
40期		岸本 拓世	大和銀行	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	
4年		畠田 健次	日本大学	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	

1999 世界選手権2次予選

船橋市総合体育館

1999/5/2-3

男子		個人成績		ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計(1日)	合計(2日)						
学年	順	選手名	所属														
	1	斎藤 良宏	大和銀行	8.500	9.325	9.200	9.500	9.325	9.300	9.200	9.450	9.350	9.550	55.075	55.975		
	2	笠松 昭宏	徳洲会	8.250	8.900	9.700	9.500	9.000	8.700	9.400	9.475	9.150	8.650	9.200	9.450	54.700	54.675
	3	小川 泰弘	順天堂大学	8.950	9.000	8.600	9.225	8.800	8.950	9.650	9.250	9.100	8.800	9.100	9.300	54.200	54.525
36期	14	岩井 剛賢	大和銀行	8.800	8.800	8.700	8.550	8.850	9.300	8.850	9.250	8.800	8.600	8.750	8.050	52.750	52.550
35期	17	増田 宏正	大和銀行	8.600	8.500	9.200	8.700	8.900	9.000	9.400	9.200	9.050	9.100	9.500	8.600	54.650	53.100
40期	22	今本 隼行	熊本県教諭	8.500	8.500	8.600	9.000	8.700	8.300	8.450	8.150	8.900	7.000	9.000	8.900	52.150	49.850
36期	23	林 秀樹	河合楽器	8.000	7.950	9.300	9.275	8.000	7.900	8.600	8.650	8.800	7.950	8.800	8.700	51.500	50.425
37期	24	今本 隼次	大和銀行	7.700	7.950	9.200	8.550	8.500	8.600	8.600	8.500	8.250	8.250	8.900	8.550	51.150	50.400
34期	25	西川 大輔	日本大桜櫓	8.150	8.200	8.800	9.050	8.250	8.000	8.600	8.700	8.100	8.550	8.700	8.450	50.600	50.950
33期		松永 政行	河合楽器	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ		
40期		岸本 拓世	大和銀行	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ		
4年		畠田 健次	日本大学	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ	ㄗ		

1999 ユニバーシアード予選

船橋市総合体育館

1999/5/2-3

女子		個人成績		跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
学年	順	選手名	所属					
2年	1	菅原 リサ	日本体育大学	8.962	9.400	9.000	9.550	36.912
1年	2	北村 彩子	東京学芸大学	8.750	9.225	7.900	9.200	35.075
4年	3	橋口 美穂	日本体育大学	8.525	8.500	9.025	8.800	34.850
4年	4	小畑 由貴	日本体育大学	9.100	8.225	8.800	8.650	34.775
4年	5	脇田奈緒子	日本体育大学	8.537	8.500	8.800	8.850	34.687
2年	16	斎藤みずぎ	日本大学	8.075	7.775	8.250	6.800	30.900

1999 東日本学生選手権大会

町田市総合体育館

1999/5/29-30

男子		チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1		日本体育大学	44.550	44.600	44.650	46.450	45.700	44.400	270.350
2		順天堂大学	42.550	46.100	44.350	46.350	43.150	44.700	267.200
3		筑波大学	43.900	45.400	42.000	44.900	42.000	42.700	260.900
4		日本大学	42.900	43.400	43.550	44.050	42.900	42.700	259.550

個人成績		ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計						
学年	順	選手名	所属											
4年	1	塚原 直世	明治大学	9.200	9.450	9.200	9.450	9.400	9.450	56.150				
4年	2	平本 将人	日本大学	9.050	6	8.950	9.050	3	9.300	9.500	1	9.150	6	55.000
4年	3	米田 以	順天堂大学	8.600	9.200	8.900	9.400	9.050	9.500	9.150	6	54.650		
4年		天海 仁志	日本大学	7.850	7.950	8.850	8.250	8.150	8.700	49.750				
3年		高橋 勇樹	日本大学	8.550	8.700	7.750	8.600	8.450	8.550	50.600				
3年		加藤 芳隆	日本大学	8.800	8.850	8.550	9.200	7.550	8.550	51.500				
4年		畠田 健次	日本大学	0.000	7.700	8.900	8.650	8.700	7.750	41.700				
1年		古市 正樹	日本大学	8.700	8.950	8.200	8.300	8.100	7.300	49.550				
3年	個	日下部亮洋	日本大学	8.650	8.100	8.350	8.800	7.850	7.250	49.000				
2年	個	櫻井 尚志	日本大学	8.250	8.300	7.550	8.650	7.650	7.750	48.150				
2年	個	木村 州	日本大学	8.500	6.950	7.500	8.250	7.800	7.950	46.950				

1999 東日本学生選手権大会

町田市総合体育館

1999/5/29-30

女子		チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1		日本体育大学	45.075	44.600	45.475	45.525	180.675
2		東京女子体育大学	43.225	39.400	41.500	40.025	164.150
3		筑波大学	41.875	36.475	43.800	40.750	162.900
4		日本大学	42.400	38.275	40.900	40.300	161.875

個人成績		跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計		
学年	順	選手名	所属					
2年	1	菅原 リサ	日本体育大学	9.150	9.475	9.500	9.750	37.875
4年	2	脇田奈緒子	日本体育大学	8.775	9.000	9.200	9.100	36.075
4年	3	藤井 滋子	日本体育大学	8.850	8.775	9.200	9.000	35.825
2年		斎藤みずぎ	日本大学	8.600	8.325	8.200	8.100	33.225
3年		関根 彩	日本大学	8.650	7.550	8.500	8.250	32.950
1年		日向小百合	日本大学	8.700	6.650	8.150	8.250	31.750
1年		岡崎 恵美	日本大学	8.200	7.550	8.150	7.800	31.700
1年		上川みゆき	日本大学	8.250	7.700	7.900	6.900	30.750
3年		吉岡 彩子	日本大学	8.100	7.150	6.800	7.900	29.950

個人成績										
学年	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計		
4年	個	西山 実花	日本大学	8.150	8.000	6.700	7.000	29.850		
2年	個	井上あいち	日本大学	7.700	7.700	7.150	7.900			
3年	個	原 伊都香	日本大学	7.500	7.700	7.150	7.900	30.250		

1999 NHK杯

広島

1999/6/5-6

男子 個人成績

学年	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計(1日)	合計(2日)						
4年	1	塚原 直也	明治大学	9.300	9.425	9.525	9.525	9.350	9.150	9.575	9.550	9.200	9.450	9.300	9.600	56.250	56.700
	2	笠松 昭宏	徳洲会	9.400	9.350	9.700	9.750	8.600	8.900	9.400	9.475	9.350	9.250	9.000	9.350	55.450	56.075
4年	3	米田 功	順天堂大学	9.500	9.500	9.400	8.950	9.050	9.050	9.100	9.200	8.900	8.750	9.550	9.700	55.500	55.150
35期	17	増田 宏正	大和銀行	8.350	8.700	8.800	8.750	8.350	8.900	9.250	9.175	8.900	8.800	8.300	8.300	51.950	52.625
34期	25	西川 大輔	日大桜樹ク	8.350	8.450	8.800	8.400	8.050	8.050	8.750	8.850	8.800	8.850	8.900	8.800	51.650	51.400
36期	14	岩井 則賢	大和銀行	7.750	8.000	8.250	8.500	8.850	9.000	8.800	8.800	8.750	8.800	8.750	8.600	51.150	51.700
37期	24	今木 重光	大和銀行	8.300	7.950	8.950	9.100	8.450	8.500	8.950	8.700	8.100	8.800	9.200	7.450	51.950	50.500
40期	22	今木 重行	熊本県教諭	8.350	8.700	8.500	8.500	8.550	8.650	8.300	8.400	7.450	8.600	8.250	8.950	49.400	51.800
4年	4	島田 健次	日本大学	7.500	8.000	8.150	8.800	8.200	8.600	8.800	8.300	8.100	8.750	8.300	8.300	49.050	50.750
33期	松永 政行	河合楽器	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700		
36期	林 秀樹	河合楽器	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700		
40期	岸本 拓也	大和銀行	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700	7.700		

1999 NHK杯

広島

1999/6/5-6

女子 個人成績

学年	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計	合計				
4年	1	山脇 佳奈	ビット体操ク	9.075	9.225	9.575	9.575	9.375	9.475	9.175	9.350	37.200	37.625

1999 全日本学生選手権大会

町田市総合体育館

1999/5/29-30

男子

順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	日本体育大学	43.550	45.950	45.725	46.200	45.950	44.250	271.625
2	筑波大学	44.900	45.675	43.650	45.600	45.350	45.200	270.375
3	順天堂大学	44.800	46.350	42.050	45.850	45.550	44.350	268.950
4	日本大学	43.050	44.150	43.750	44.450	43.150	43.950	262.500

団体総合個人成績

学年	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	米田 功	順天堂大学	9.400	9.150	8.350	9.650	9.250	9.450	55.250
4年	1	安達 俊亨	筑波大学	9.300	9.000	9.200	9.600	9.300	8.850	55.250
4年	11	平本 将人	日本大学	8.600	8.550	9.000	9.300	8.750	9.000	53.200
4年	29	天海 仁志	日本大学	8.300	8.750	8.800	8.900	8.450	8.200	51.400
3年	35	高橋 勇樹	日本大学	8.300	8.950	7.750	8.400	8.700	9.000	51.100
3年	3	加藤 勇樹	日本大学	8.900	9.000	8.650	8.850	7.700	8.900	44.300
4年	19	島田 健次	日本大学	8.100	8.450	8.850	9.000	9.200	8.850	52.450
1年	36	古市 正樹	日本大学	8.950	8.900	8.450	8.350	8.050	8.100	50.800
3年	48	近藤 義和	日本大学	8.000	7.900	8.350	8.650	8.850	8.450	50.200
2年	65	太田 崇	日本大学	7.650	8.350	8.500	8.300	8.650	7.600	49.050
4年	91	門脇 年宏	日本大学	8.450	7.350	7.100	8.100	8.100	7.850	46.950
3年	62	日下部充洋	日本大学	8.500	8.200	7.700	8.600	8.300	8.000	49.300
1年	73	宮原 克典	日本大学	7.900	7.450	8.500	8.700	7.850	8.250	48.650

個人成績

学年	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	1	米田 功	順天堂大学	9.300	9.450	9.000	9.650	9.275	9.375	56.050
4年	2	安達 俊亨	筑波大学	9.000	9.500	9.100	9.200	9.325	8.950	55.075
4年	3	齋藤 卓	筑波大学	9.225	9.200	8.950	9.150	9.275	9.000	54.800
4年	7	平本 将人	日本大学	8.900	8.300	8.650	9.300	8.900	9.150	53.200
4年	7	島田 健次	日本大学	8.500	9.100	8.400	8.850	9.200	9.150	53.200
3年	27	高橋 勇樹	日本大学	8.500	8.650	7.850	8.550	8.450	8.800	50.800
1年	29	古市 正樹	日本大学	8.800	9.000	8.200	8.400	8.250	8.050	50.700
4年	33	天海 仁志	日本大学	8.250	8.250	8.550	8.700	7.400	8.750	49.900

1999 全日本学生選手権大会

町田市総合体育館

99/5/29-30

女子

順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	44.423	42.900	44.875	45.275	177.473
2	東京女子体育大学	42.862	40.150	38.975	42.200	164.187
3	武蔵川女子大学	42.185	39.725	40.050	41.975	163.935
5	日本大学	40.937	39.400	39.100	39.750	159.187

団体総合個人成績

学年	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
2年	1	菅原 リサ	日本体育大学	9.050	9.300	9.400	9.500	37.250
4年	2	藤井 進子	日本体育大学	8.862	8.700	9.200	9.000	35.762
4年	3	藤田奈緒子	日本体育大学	8.637	8.800	8.650	9.025	35.112
2年	26	齋藤みず子	日本大学	8.325	8.100	7.800	7.800	32.025
2年	16	井上あいち	日本大学	8.450	8.400	8.500	8.550	33.900
1年	47	日向小百合	日本大学	7.550	7.650	7.400	7.950	30.550
3年	43	原 伊都香	日本大学	7.925	7.800	7.000	8.100	30.825
1年	55	上川みゆき	日本大学	8.037	7.050	7.800	7.200	30.087
3年	46	吉岡 彩子	日本大学	8.200	7.450	7.600	7.350	30.600
4年	50	浅見 美鈴	日本大学	8.200	6.500	7.600	8.000	30.300
4年	65	山野千美由	日本大学	7.775	7.950	6.400	6.450	28.575
3年	17	関根 彩	日本大学	8.550	8.400	7.650	8.300	32.900

個人成績

学年	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
2年	1	菅原 リサ	日本体育大学	9.025	9.500	9.425	9.250	37.200
4年	2	小堀 由貴	日本体育大学	9.025	8.600	8.725	8.475	34.825
2年	3	尤 純繪	九州女子短大	8.875	8.250	8.650	8.550	34.325
3年	17	関根 彩	日本大学	8.250	7.800	7.750	8.350	32.150
2年	20	井上あい子	日本大学	8.400	7.950	7.325	8.175	31.850
2年	29	斎藤みずぎ	日本大学	8.350	7.750	6.850	6.650	29.600

1999 関東学生交流大会

船橋市総合体育館

1999/10/14

男子 個人成績

学年	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計				
2年	1	木村 光	日本大学	8.550	3	9.050	2	8.550	5	8.350	3	8.650	2	51.500
2年	2	渡辺 雄樹	日本体育大学	8.200		9.200		8.350		8.600		8.400		51.250
3年	3	田中 堅二	順天堂大学	8.700		7.950		8.700		9.300		8.350		51.150
2年	4	山田 真二	日本大学	8.400	5	8.550	3	8.500	6	8.400		8.050	5	50.400
2年	6	平 敏樹	日本大学	8.350		8.100	4	8.700	3	8.400		8.000		49.850
2年	7	鶴井 浩樹	日本大学	9.000	1	8.000	6	7.700		8.900	3	7.650		49.400

1999 関東学生交流大会

船橋市総合体育館

1999/10/14

女子 個人成績

学年	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計				
3年	1	伊藤 絵里	日本体育大学	8.675		8.850		8.450		8.400		34.375
3年	2	西岡枝里子	日本体育大学	8.450		8.750		8.500		8.025		33.725
3年	3	鬼村しのぶ	日本体育大学	8.525		8.500		8.100		8.300		33.425
2年	10	半藤 京子	日本大学	8.200		7.350		7.050		8.450	2	31.050
2年	13	山崎 紀子	日本大学	7.450		7.350		7.300		8.050		30.150

1999 関東学生新人戦

船橋市総合体育館

1999/10/15

男子

順	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	順天堂大学	35.400	36.100	36.450	35.550	36.350	36.750	216.600
2	日本体育大学	35.800	37.100	36.300	36.300	34.050	35.850	215.400
3	日本大学	34.550	35.150	35.750	34.550	31.750	33.850	205.600

個人成績

学年	順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計					
1年	1	冨田 洋之	順天堂大学	8.850		8.700		9.600		9.100		8.900		9.700	54.850
1年	2	斉藤 寛樹	順天堂大学	9.200		9.450		8.900		8.800		9.000		9.200	54.550
1年	3	伊藤 清良	筑波大学	8.350		9.000		9.350		9.450		9.000		9.100	54.250
1年	10	宮原 克典	日本大学	8.750		8.500		9.350	2	8.800		8.250		8.200	51.850
1年	13	古市 正樹	日本大学	9.050	4	9.000		8.850		8.300		7.350		8.500	51.050
1年	14	熊勢 龍二	日本大学	8.550		8.650		9.150	6	8.450		7.850		7.500	50.150
1年	15	佐藤 佑介	日本大学	7.400		9.000		8.150		8.100		7.950	6	9.050	49.650
1年	20	野村 俊介	日本大学	8.200		8.250		8.400		8.200		7.450		7.900	48.400
1年	21	森下 翔	日本大学	8.000		7.350		8.000		9.000	6	7.700		8.100	48.150

1999 関東学生新人戦

船橋市総合体育館

1999/10/15

女子

順	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	日本体育大学	34.700	34.275	34.350	34.525	137.850
2	東京女子体育大学	32.450	33.850	33.000	34.175	133.475
3	日本女子体育大学	32.425	30.150	31.650	33.325	127.550
4	日本大学	31.975	30.975	33.025	31.450	127.425

個人成績

学年	順	選手名	所 属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計				
1年	1	北村 彩子	東京学芸大学	9.425		9.250		9.150		9.500		37.325
1年	2	森重 友子	東京女子体育大学	9.075		8.750		9.000		9.050		35.875
1年	3	平松まどか	日本体育大学	8.500		7.950		9.350		8.700		34.500
1年	7	日向小百合	日本大学	8.700	5	8.300		8.175		8.500		33.675
1年	20	岡崎 真美	日本大学	8.150		6.900		8.150		7.550		30.750
1年	16	上川みゆき	日本大学	8.000		7.875		8.500	6	7.500		31.875
1年	19	利根 彩羽	日本大学	7.125		7.900		8.200		7.900		31.125
1年		内藤 啓子	日本大学	チン		チン		チン		0.900		0.900

1999 国民体育大会

熊本市総合体育館

1999/10/24-27

男子

順	選手名	所 属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計					
37期	吉田 頼樹	白樺養護学校	8.350		7.300		8.550		9.200		8.250		8.350	50.000
39期	小林 正明	九州東海大学	9.300		9.150		8.750		9.350		9.450		9.200	55.200
40期	今木 重行	密山中学校	9.100		9.500		8.950		8.650		8.900		8.750	53.850
4年	平本 将人	日本大学	チン		チン		チン		チン		チン		チン	0.000
3年	加藤 芳隆	日本大学	8.600		7.400		8.400		8.450		8.050		9.000	49.900
2年	錦井 浩樹	日本大学	8.950		8.300		8.150		9.000		8.650		8.300	51.350
1年	熊勢 龍二	日本大学	8.200		7.900		9.050		8.500		8.000		7.650	49.300
4年	吉岡 知宏	日本大学	チン		9.500		8.250		チン		7.750		8.050	33.550
40期	斉藤 寛	河合楽器	8.500		9.650		8.950		8.900		8.700		9.350	54.050
4年	畠田 健次	日本大学	8.300		8.300		8.600		9.100		8.950		9.250	52.500
3年	日下部充洋	日本大学	8.900		6.000		8.450		8.950		8.000		8.050	48.350

1999 国民体育大会
女子 個人成績

熊本市総合体育館

1999/10/24-27

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
3年	関根 彩	日本大学	8.200	6.950	7.700	7.750	30.600
2年	斎藤みずき	日本大学	7.650	8.350	7.600	7.850	31.450
1年	岡崎 恵美	日本大学	8.000	7.600	8.000	8.050	31.650
1年	上川みゆき	日本大学	8.050	6.000	8.050	6.950	29.050
2年	井上あい子	日本大学	8.600	8.650	8.200	8.600	34.050

1999 全日本選手権大会

富山市総合体育館

1999/11/12-14

順位	チーム名	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	大和銀行	44.950	44.250	47.175	47.475	46.975	45.525	276.350
2	徳洲会	44.750	46.650	46.275	45.450	45.500	46.050	274.675
3	順天堂大学	43.300	45.000	45.200	46.550	45.600	46.525	272.175
4	筑波大学	44.250	45.600	43.875	46.000	44.950	45.475	270.150
5	日本体育大学	43.550	46.650	43.700	45.350	44.950	44.600	268.800
6	河合楽器	43.500	45.025	43.275	45.350	45.500	42.450	265.100
7	日本大学	41.050	42.950	40.600	44.000	41.900	43.600	254.100

団体総合個人成績(日大・桜樹関係者のみ)

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
4年	平本 将人	日本大学	9.050	8.450	7.650	9.400	8.200	8.700	51.450
4年	天海 仁志	日本大学	7.700	8.700	8.150	8.700	8.300	8.400	49.950
3年	高橋 勇嗣	日本大学	8.250	8.350	6.600	8.500	8.550	9.050	49.300
3年	加藤 芳隆	日本大学	7.700	8.000	7.850	8.500	7.950	8.350	48.350
4年	畠田 健次	日本大学	7.900	8.800	8.500	8.700	8.900	9.100	51.900
1年	古市 正樹	日本大学	8.150	8.650	8.450	8.700	7.350	8.000	49.300
35期	増田 宏正	大和銀行	8.750	7.950	9.200	9.275	9.150	8.800	53.125
36期	岩井 則賢	大和銀行	8.400	8.900	9.500	9.600	9.400	9.200	55.000
38期	林 弘策	大和銀行	9.100	8.550	9.300	9.500	8.850	8.650	53.950
39期	若山 卓	大和銀行	9.350	8.200	8.450	9.000	9.050	8.350	52.400
37期	今木 重洋	大和銀行	8.100	8.350	8.300	8.550	6.800	8.550	48.650
34期	西川 大輔	日大桜樹クラブ	8.400	8.750	8.000	8.800	8.750	8.550	51.250
36期	林 秀樹	河合楽器	8.700	9.250	8.400	8.800	9.050	9.250	53.450
37期	山下 大介	河合楽器	8.950	8.800	7.600	8.700	8.050	7.400	49.500
40期	斎藤 晃	河合楽器	8.200	9.575	8.700	8.250	8.750	8.250	51.725
39期	小林 正明	朝日生命	9.050	8.800	8.300	9.200	9.000	9.050	53.400
40期	今木 重行	熊本クラブ	8.700	8.850	8.700	8.300	8.500	8.600	51.600

個人総合

順位	選手名	所属	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒	合計
1	塚原 直也	明治大学	9.175	9.500	9.450	9.475	9.525	9.550	56.675
2	笠松 昭宏	徳洲会	9.600	9.575	9.075	9.525	9.300	9.350	56.425
3	芥藤 良宏	大和銀行	9.325	9.300	9.500	9.325	9.350	9.525	56.325
39期	16 小林 正明	朝日生命	9.075	8.850	8.500	9.250	9.100	9.050	53.825
38期	17 林 弘策	大和銀行	8.550	8.800	9.275	9.150	9.000	9.000	53.775
36期	22 岩井 則賢	大和銀行	7.400	8.450	9.400	9.500	9.400	9.300	53.450
35期	23 増田 宏正	大和銀行	9.175	8.600	9.100	9.250	9.050	8.200	53.375
36期	24 林 秀樹	河合楽器	8.750	9.350	8.350	8.750	9.000	9.150	53.350
39期	29 若山 卓	大和銀行	9.200	8.550	8.650	9.000	8.850	8.550	52.800

種目別(日大・桜樹関係者のみ)

ゆか	2	若山 卓	大和銀行	9.325
つり輪	3	岩井 則賢	大和銀行	9.500
跳馬	6	林 弘策	大和銀行	8.937
平行棒	4	岩井 則賢	大和銀行	9.500

1999 全日本選手権大会

富山市総合体育館

1999/11/12-14

順位	チーム名	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	朝日生命体操クラブ	44.736	45.725	45.725	43.575	179.761
2	戸田市スポーツセンター	44.261	45.925	44.325	44.400	178.911
3	日本体育大学	45.349	42.800	44.750	45.150	178.049
4	レジックススポーツ	43.673	41.500	43.275	41.750	170.198
5	四天王寺スポーツクラブ	43.773	42.175	42.400	41.600	169.948
6	東京女子体育大学	42.236	38.650	37.400	39.150	157.436

団体総合個人成績(日大・桜樹関係者のみ)

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
3年	68 関根 彩	日本大学	7.937	7.950	7.050	7.400	30.337

個人総合

順位	選手名	所属	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	合計
1	菅原 リサ	日本体育大学	9.150	9.325	9.400	9.475	37.350
2	竹中 美穂	東海TVレック東名	9.150	9.300	9.200	9.425	37.075
3	奥本 恵理	四天王寺妹ヶ山	9.162	9.200	9.375	9.100	36.837

第 32 回全日本社会人選手権

9/9~11 吉田

[団体総合] 男子1部 1位 大和銀行 合計 273.125 2位 徳州会 合計 269.950 3位 河合楽器 合計 264.550

[個人総合] 男子1部

順位	氏名(所属)	ゆ	あ	輪	跳	平	鉄	合計
1位	山田 辰也(大和銀行)	9.100	8.950	9.525	9.450	9.400	9.500	55.925
2位	笠松 昭宏(徳州会)	9.450	9.250	9.150	9.550	8.350	9.600	55.350
3位	原田 睦巳(順友クラブ)	8.800	9.350	9.375	9.300	9.050	9.300	55.175
6位	岩井 則賢(大和銀行) 36期	8.600	8.850	9.250	9.500	9.050	9.050	54.300
9位	若山 卓(大和銀行) 39期	9.150	8.650	8.800	9.150	9.150	8.800	53.700
12位	今木 重光(大和銀行) 37期	8.250	9.525	8.350	8.700	8.950	9.250	53.025
15位	小林 正明(朝日生命) 39期	9.125	8.500	7.900	9.300	8.900	9.000	52.725
17位	林 秀樹(河合楽器) 36期	8.600	9.400	8.250	8.800	8.800	8.600	52.450
21位	山下 大介(河合楽器) 37期	9.050	8.800	7.600	8.950	8.900	8.600	51.900
22位	西川 大輔(日大桜樹) 34期	8.350	8.900	8.200	8.800	8.700	8.700	51.650
23位	増田 宏正(大和銀行) 35期	8.650	9.000	6.650	9.400	8.900	8.900	51.500
24位	斎藤 寛(河合楽器) 40期	8.700	8.700	8.000	8.800	8.150	8.900	51.250
25位	林 弘策(大和銀行) 38期	8.900	7.500	9.250	8.800	8.600	7.900	50.950
28位	今木 重行(熊本クラブ) 40期	8.250	7.650	8.850	8.550	8.000	9.100	50.400
35位	畠田 一道(河合楽器) 38期	7.250	8.000	7.800	8.600	8.500	8.350	48.500

[個人総合・種目別] 女子1部

順位	氏名(所属)	跳	棒	均	ゆ	合計
1位	和 雪梅(鯖江列)	8.962①	8.550②	8.600③	8.700①	34.812
2位	西 えりか(熊本選抜)	8.825②	8.800①	8.650②	8.475③	34.750
3位	三宅 綾子(熊本選抜)	8.650③	7.950	8.750①	8.550②	33.900

跳③・棒③・ゆ③; 富本 優貴(熊本選抜)

[種目別] 男子1部

ゆ	あ	輪	鉄
1位 笠松 昭宏(徳州会)	1位 小島 正憲(徳州会)	1位 斎藤 良宏(大和)	1位 斎藤 良宏(大和)
2位 若山 卓(大和)	2位 内山 隆(徳州会)	2位 山田 辰也(大和)	2位 山田 辰也(大和)
3位 小林 正明(朝日)	・ 中村 友彦(徳州会)	3位 中村 友彦(徳州会)	3位 中村 友彦(徳州会)
5位 山下 大介(河合)	4位 今木 重光(大和)	8位 岩井 則賢(大和)	・ 林 弘策(大和)
7位 林 弘策(大和)	5位 林 秀樹(河合)	・ 林 弘策(大和)	・ 林 弘策(大和)
跳 1位 笠松 昭宏(徳州会)	平 1位 小野 武彦(河合)	鉄 1位 斎藤 良宏(大和)	1位 斎藤 良宏(大和)
2位 岩井 則賢(大和)	2位 山田 辰也(大和)	2位 笠松 昭宏(徳州会)	2位 笠松 昭宏(徳州会)
3位 山田 辰也(大和)	3位 栗原 茂(大和)	3位 山田 辰也(大和)	3位 山田 辰也(大和)
4位 増田 宏正(大和)	6位 若山 卓(大和)	・ 藤田 健一(徳州会)	・ 藤田 健一(徳州会)
6位 小林 正明(朝日)	8位 岩井 則賢(大和)	6位 今木 重光(大和)	6位 今木 重光(大和)
		8位 今木 重行(熊本ク)	8位 今木 重行(熊本ク)

[団体総合] 男子2部 (2部適用ルール) 1位 大和田石英体操クラブ 合計 164.900
2位 茗溪クラブ 合計 162.600 3位 香川ジムナストクラブ 合計 161.850

[団体総合] 女子2部 (2部適用ルール) 1位 日体クラブ健康体育教室 合計 85.050
2位 洛翔体操会 合計 65.550 3位 駿台明治クラブ 合計 62.550

[個人総合・種目別] 男子2部

順位	氏名(所属)	期	ゆ	あ	輪	跳	平	鉄	合計
1位	吉田 義経(日大桜樹)	37期	9.650①	9.450⑥	9.550②	9.425①	9.800①	8.600	56.475
2位	河西祐治(SHIZUOKA A)		9.150	9.675②	9.150	9.150③	9.450	9.250	55.825
3位	永田 秀樹(九共大あ)		9.300	9.550	9.000	9.000	9.150	9.450②	55.450
5位	林 克彦(大石体ク)	34期	9.200⑤	9.350	9.250⑥	9.000⑥	9.400	9.000	55.200
11位	村山 孝之(大石体ク)	36期	8.900	9.350	9.100	8.350	9.450	9.000	54.150
14位	関根 功(大石体ク)	36期	8.750	9.450⑥	8.750	8.450	9.400⑦	8.800	53.600
56位	三富 洋昭(新潟カブ)	33期	6.000	8.900	7.600	7.650	9.200	8.500	47.850

ゆ②・鉄③；中堀光輝(順友) ゆ③・跳②；林克典(鯖江カブ) あ①・平②；下村健一(新潟)
あ③・跳③・鉄③；小川大人(茗溪) 輪①；永山丈太郎(日体カブ) 輪③；佐藤圭吾(香川カブ)
平③；北川淳一(鹿屋) 鉄①；橋本幸博(香川カブ)

<30代(バス4種目)> 1位 佐藤(香川カブ) 36.550 2位 中村(茗溪) 36.300 3位 浜田(因島体操) 36.150
8位 三富(新潟) 34.250

<40代(バス4種目)> 1位 北川(鹿屋) 36.400 2位 大庭(東京YMCA) 34.800 3位 木津(操友) 34.550

<50代(バス4種目)> 1位 松元(鹿屋) 34.000 2位 高橋(西舞鶴カブC) 33.300 3位 奥原(天理) 32.200

<60代(バス4種目)> 1位 中村(東京YMCA) 25.900

<70代(バス4種目)> 1位 川田(新潟) 33.300 2位 矢島(茗溪) 29.250

[個人総合・種目別] 女子2部

順位	氏名(所属)	期	跳	棒	均	ゆ	合計
1位	平野 裕子(茗溪カブ)		9.150①	8.900②	8.350①	8.800③	35.200
2位	長澤 郁子(日大桜樹)	31期	8.950②	8.900②	8.300②	8.850②	35.000
3位	金谷麻理子(鹿屋カブ)		8.600③	9.000①	8.050③	8.900①	34.550

<30代(バス3種目)> 1位 平野(茗溪) 26.850 2位 長澤(桜樹) 26.700 3位 高橋(日女松徳) 20.400



(絵：濱田靖一顧問)

平成 11 年度 懇親会報告

NHK杯兼世界選手権代表選考懇親会

日時) 平成 11 年 6 月
会場) 広島;

インターハイ懇親会

日時) 平成 11 年 8 月 2 日
会場) 盛岡; ホテル東日本
幹事) 6; 小松楯木、14; 村上吉正、
18; 作山厚子、22; 山崎至、藤館秀剛
参加) 4; 早田卓次、6; 小松楯木、
7; 荻込和男、8; 大和孝三・近藤盛一・
船木政明・山内悟、10; 堀田敏明、
12; 田中清子、13; 徳永富夫、14; 青木文次・
田中章二・村上吉正、15; 市毛美喜男・
林富久寿・山崎信恵、16; 寺元良人、
18; 作山厚子・佐藤之俊、19; 境保則・
松本俊一、21; 田中康義、22; 山崎至、
27; 島田利夫、29; 高橋良明、31; 長澤郁子、
38; 佐藤弘典、藤館秀剛

以上 28 名

全日本インカレ懇親会

日時) 平成 11 年 8 月 6 日
会場) 成瀬; 魚民
会費) 男性; 5,000円、女性; 2,000円
幹事) 6; 鶴見興人、19; 高橋和秀
参加) 顧; 遠藤幸雄、2; 平川文雄・芳尾明、
3; 早乙女貞夫、4; 木村多喜・早田卓次、
6; 鶴見興人、10; 安藤泰行(・泰三くん)、
11; 原弘吉、13; 斎藤敬一・徳永富夫、
14; 外山宜男、15; 山崎信恵、17; 梶山広司、
19; 高橋和秀 25; 遠藤幸一、26; 川畑龍雄・
桜井一男、27; 大野裕二、30; 水島さだ子、
32; 佐藤寿治、34; 西川大輔

以上 23 名

残金 31,013 円は桜樹会に贈られました。

国体懇親会

日時) 平成 11 年 10 月
会場) 熊本;

全日本懇親会

日時) 平成 11 年 11 月 13 日(土)
会場) 富山;
幹事) 20; 山本俊子

忘年会(有志)

日時) 平成 11 年 11 月 27 日(土)~28 日(日)
会場) 熱海; ホテル貫一
会費) 20,000 円
幹事) 4; 小俣里知子、他三島支部会員

新年会(有志)

日時) 平成 12 年 1 月 22 日(土) 17:00~
会場) 新宿; 栄寿司二号店
会費) 5,000 円
幹事) 事務局
参加) 顧; 遠藤幸雄、1; 石井征也、

2; 芳尾明・吉川晃、4; 小俣里知子・
早田卓次、5; 小松武雄、6; 鶴見興人、
8; 岩田惇、9; 朝倉徳雄、10; 門脇隆・
菅野多賀子・松本恭子、11; 有元脩・
原弘吉、13; 佐々木巖、14; 外山宜男・
青木昭文、17; 梶山広司、21; 平田倫敏、
25; 遠藤幸一、29; 水島宏一、
30; 水島さだ子、31; 川口雅志・助信昌俊・
長澤郁子・林洋介、32; 喜多川和也・
佐藤寿治、34; 君嶋孝之・西川大輔、
35; 宮根豊、36; 関根功、38; 後藤靖二・
佐藤弘典・渋沢葉子

以上 36 名

祝儀他) ホテルサンルート東京

※新年会の案内通知に関しましては、首都圏
を中心に選出、送付させていただき、その方々
から卒業期を中心に他の方々への連絡をお願い

いしております。つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、皆様のご協力をお願いします。なお、万一ご連絡がなかった場合には、恐れ入りますが日時をご確認のうえ、事務局まで文書（またはFAX等）にて直接ご連絡をお願いします。

卒業生送別会二次会

日時) 平成12年2月12日(金)20:00～

会場) 新宿;美祿亭

会費) 2,000円

参加) 顧;濱田靖一、1;石井征也、
3;早乙女貞夫、4;早田卓次、
5;小松武雄、6;鶴見興人、10;門脇隆、
17;梶山広司、32;佐藤寿治、34;君嶋孝之・
西川大輔、35;宮根豊、38;渋沢葉子

以上13名

総会懇親会

(遠藤先生(顧問)国際体操殿堂入り祝賀会)

日時) 平成12年3月18日(土)18:00～

会場) 新宿;ホテルサンルート東京

会費) 男性;6,000円、女性;5,000円

幹事) 事務局

参加) 顧;遠藤幸雄・勢能一男、1;石井征也、
2;芳尾明・吉川晃、4;小俣里知子・
菊地君男・木村多喜・早田卓次、
5;金子洋平・小松武雄・山中勝男、
6;鶴見興人、7;佐藤勲・和田勝、
9;伊藤寛美、10;高波司雄・千野良一・
菅野多賀子・森昭雄、11;工藤昌二・
網島路正・原弘吉、12;相原和明、
14;久保光正・青木昭文、17;梶山広司・
梶山節子、19;境保則・塚越美和子、
31;長澤郁子、34;君嶋孝之・西川大輔

以上33名

祝儀他) 顧;草皆英二郎、セノー株式会社、
ホテルサンルート東京

祝電) 北海道ブロック、10;安藤泰行

※各懇親会の幹事の方は、ご面倒だとは存じますが、①日時、②会場、③会費、④幹事および⑤参加者などの詳細を事務局まで文書（またはFAX等）にてご連絡をお願いします。また、その懇親会の報告（原稿）なども併せて送付（または送信）していただければ幸いです。なお、お忙しいところ誠に恐縮とは存じますが、各懇親会の幹事についてはその地域のOB・OGの方々でお願い申し上げます。



平成 11 年度 役員会報告

第 1 回

平成 12 年 3 月 18 日 (日) 14:00～ 日本大学文理学部第 2 体育館 3 階体操場
出席) 1 ; 石井征也、5 ; 小松武雄、10 ; 菅野多賀子、25 ; 遠藤幸一、31 ; 長澤郁子、
34 ; 君嶋孝之・西川大輔 以上 7 名

I 会計監査作業

II 報告事項

1. 競技会報告

1) 世界選手権 2 次予選・ユニバー代表決定 (船橋 ; 1999/5/2～3)

派遣 ; 西川大輔 (34 回卒)

2) 東日本インカレ (町田 ; 1999/5/29～30)

3) NHK 杯・世界選手権代表選考 (広島 ; 1999/6/5～6) 派遣 ; 西川大輔 (34 回卒)

4) 全日本インカレ (町田 ; 1999/8/4～7)

5) 社会人 (新潟 ; 1999/9/9～11)

派遣 ; 1 部個人…西川大輔 (34 回卒) →全日本出場権獲得、2 部個人…男女 3 名

6) 関東学生新人・交流 (船橋 ; 1999/10/14～15)

7) 全日本 (富山 ; 1999/11/12～14) 派遣 ; 西川大輔 (34 回卒)

2. 各懇親会報告

1) 忘年会 (有志) ; 熱海「ホテル貫一」平成 11 年 11 月 27 日 (土) ～28 日 (日)

2) 新年会 (有志) ; 新宿「栄寿司二号店」平成 12 年 1 月 22 日 (土) 17:00～

3) 体操部送別会 ; 新宿「サンルート東京」平成 12 年 2 月 12 日 (土) 18:00～

3. その他

1) 会報 33 号・1999 会員名簿発行 (印刷代¥558,414 (振込手数料込)、送付代¥188,200)

2) 体操部補助 (¥200,000)

3) 畑野芳喜 (16 回卒) ; 「誠に勝手ながら仕事の都合、体調不良で病院に入退院をくりかえしておりますので脱会をお願い申し上げます。」…退会承認 (→欠番)

4) 常井晴道 (9 回卒) ; 「中国地区の幹事をわたくし常井から鳥取県の小野田君に引き継ぎをお願いいたします。小野田君には、お願ひし、了承していただいております。総会に出席できなくて申し訳ありませんが、よろしくお願ひいたします。」…承認

III 審議事項

1. 平成 11 年度総会打合せ (および議事録案)

平成 12 年 3 月 18 日 (土) 17:00～ 新宿 ; サンルート東京 3F 「桔梗」

委任状 289 通…通知 679 (うち不明 9) '00. 3. 12 現在

出席予定) 1 ; 石井征也、2 ; 吉川晃、4 ; 小俣里知子・菊地君男・木村多喜・

早田卓次、5 ; 小松武雄・山中勝男、7 ; 佐藤勲、9 ; 伊藤寛美、10 ; 高波司雄 ? ・

津村二郎 ? ・菅野多賀子、11 ; 工藤昌二・原弘吉 ? 、12 ; 相原和明、14 ; 外山宜男・

青木昭文、17 ; 梶山広司、31 ; 長澤郁子、34 ; 君嶋孝之・西川大輔 以上 22 名

1) 挨拶 ; 会長 石井征也

2) 議長・書記選出 ; 議長 (昨年度 ; 菊地君男 (4 回卒)) ・書記 (昨年度 ; 小俣里知子 (4 回卒))

3) 報告事項

- ・平成 11 年度事業および行事報告；櫻樹会関係；事務局
体操部関係（昨年度；西川大輔(34 回卒)）
- ・新入会員報告（11 名；男性 7 名、女性 4 名）；事務局

4) 審議事項

- ・平成 11 年度収支決算報告；事務局
- ・会計監査報告；会計監査
- ・平成 12 年度事業および行事計画の認否；事務局
- ・平成 12 年度予算案の認否；事務局
- ・その他

2. 総会懇親会（遠藤先生；国際体操殿堂入り祝賀会）

- 1) 場所および時間…新宿；サンルート東京 3F「桔梗」18:00～
- 2) 出席予定者…36 名（総会出席予定者を含む）

出席予定) 顧；遠藤幸雄・勢能一男、2；芳尾明、5；金子洋平、6；鶴見興人、7；和田勝、10；安藤泰行・千野良一・森昭雄、11；綱島路正、14；久保光正、17；梶山節子、19；境保則・塚越美和子
以上 14 名

3. 第 34 号会報について

- 1) 平成 12 年 5 月末日発行の予定
- 2) 2001 会員名簿校正の依頼および葉書を会報第 34 号に同封した方がよいのでは？

…従来通りで対応した方がよい。各種連絡通知における返信率、また会員名簿の訂正および校正のある会員数から考えても経費の負担が大きい。また、本来は会費納入（振込）等の際に会員本人が行うもの。

4. 平成 12 年度第 1～3 回役員会について（期日、時間および場所など）

- 1) 第 1 回…平成 12 年 6 月 4 日（日）
- 2) 第 2 回…平成 12 年 9 月 3 日（日）
- 3) 第 3 回…平成 13 年 4 月 1 日（日）

5. その他

1) 各事業および行事も含めた会への会員の参加不振が目立つが？
…各懇親会等における呼掛けで対応。

2) 近年における忘年会の場所の定着が、（忘年会の）幹事のかかなりの負担となっているのではないか。忘年会等の幹事を各ブロックの持回り制にした方がよいのでは？
…持回り制に関しては先送りとし、とりあえず各ブロックの活性化のために、各ブロック幹事に活動計画の提出を依頼し、活動計画のある場合は会報第 34 号に記載。また、総会の審議事項に「ブロックの活性化について」の項目を追加。

3) オリンピック壮行会について…状況により来年度第 1 回役員会にて対応の予定

4) 日本大学桜樹会発足 40 周年について…会則制定；1963（昭和 38）年 3 月 24 日

5) 今年度の社会人大会の監督会議によると、現状では審判員の確保が困難なため、大会においてチーム参加する場合、今後は審判員の派遣要請もあり得るということだが？
…いずれにしても派遣の場合の審判員旅費等、または派遣できない場合の連盟への審判員委嘱費の経費が必要である。各競技会参加補助における社会人大会分の増額（¥50,000 程度）で対応。

平成 11 年度 会費納入状況報告

会費納入者 ; 254 名 総額 ; 1,385,000 円

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
1	4	1	陰山 誠	2,000	35	4	1	川崎 聖子	2,000
2	4	1	笠島 靖広	2,000	36	4	1	後藤 靖治	2,000
3	4	1	岸本 拓也	2,000	37	4	1	谷田部 光則	6,000
4	4	1	吉家 美幸	2,000	38	4	1	松田 明	6,000
5	4	1	黒澤 誠	2,000	39	4	1	松下 悦子	4,000
6	4	1	斎藤 寛	2,000	40	4	1	鶴見 興人	12,000
7	4	1	鈴木 亜矢	2,000	41	4	1	松本 俊一	6,000
8	4	1	高橋 彰人	2,000	42	4	1	森田 博	6,000
9	4	1	秦 剛一	2,000	43	4	1	大坂 知恵	4,000
10	4	1	中山 孝之	2,000	44	4	1	朝倉 徳雄	6,000
11	4	1	名護 晃	4,000	45	4	1	西原 由美子	6,000
12	4	1	小松 美香	2,000	46	4	1	吾妻 晶子	4,000
13	4	1	小松 武雄	12,000	47	4	1	佐藤 善幸	4,000
14	4	1	三鍋 ますみ	2,000	48	4	1	長谷 部薫	4,000
15	4	1	菅野 多賀子	6,000	49	4	1	小俣 里知子	6,000
16	4	1	鈴木 康夫	20,000	50	4	1	大塚 政子	2,000
17	4	1	山脇 恭二	4,000	51	4	1	岩田 剛	2,000
18	4	1	五十嵐 久人	6,000	52	4	1	小坂井 一弘	4,000
19	4	1	山内 悟	6,000	53	4	1	檜 一幸	4,000
20	4	1	山下 敦	4,000	54	4	1	畠山 繁博	6,000
21	4	1	中西 富士子	4,000	55	4	1	佐々木 千佐子	2,000
22	4	1	関 辰男	12,000	56	4	1	岡本 みどり	12,000
23	4	1	大山 千晶	2,000	57	4	1	久保田 一行	6,000
24	4	1	井本 吉彦	2,000	58	4	1	上野 剛	6,000
25	4	1	木村 多喜	6,000	59	4	1	野際 摂子	8,000
26	4	1	梅田 陽子	2,000	60	4	1	岡本 公子	6,000
27	4	1	宇津 豊	6,000	61	4	1	城市 正美	4,000
28	4	1	大塚 宏	4,000	62	4	2	網島 路正	6,000
29	4	1	近藤 明	6,000	63	4	2	赤井 和子	6,000
30	4	1	寺元 良人	6,000	64	4	2	橋口 泰武	12,000
31	4	1	大野 裕二	4,000	65	4	2	山崎 雅昭	6,000
32	4	1	松本 恭子	12,000	66	4	3	本池 浩次	4,000
33	4	1	藤平 裕二	4,000	67	4	3	豊田 麻規子	2,000
34	4	1	陰山 誠	2,000	68	4	3	菊地 君男	6,000

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
69	4	4	高井一成	2,000	105	4	24	島崎康行	6,000
70	4	4	奥本知康	2,000	106	4	24	桜井一男	4,000
71	4	4	椎野芳挙	6,000	107	4	24	志村久子	6,000
72	4	4	岩田惇	6,000	108	4	25	伊藤鈴夫	4,000
73	4	4	矢木幹男	4,000	109	4	26	中島元	12,000
74	4	5	佐藤誠	6,000	110	4	28	佐々木巖	6,000
75	4	7	菅野秀俊	6,000	111	4	28	工藤昌二	6,000
76	4	7	水島宏一	4,000	112	4	29	小野田博之	4,000
77	4	8	安藤泰行	6,000	113	4	29	高橋正典	6,000
78	4	8	藤原和子	6,000	114	4	29	山本俊子	8,000
79	4	8	若松洋一	2,000	115	4	29	早瀬幸博	4,000
80	4	8	成瀬功	4,000	116	4	29	小栗郁郎	6,000
81	4	8	平田芳和	6,000	117	4	30	下河内洋平	2,000
82	4	8	相原和明	6,000	118	5	2	塚田和茂	6,000
83	4	9	中谷秀明	6,000	119	5	2	竹田盛勝	10,000
84	4	9	山田寿美	6,000	120	5	8	竹澤千代	2,000
85	4	9	林克彦	4,000	121	5	9	宮原久美子	6,000
86	4	9	林昌幸	6,000	122	5	12	金子正史	6,000
87	4	9	今西悦子	6,000	123	5	13	葛城雅恵	2,000
88	4	10	鈴木一弘	6,000	124	5	14	高見等	4,000
89	4	10	増田睦美	4,000	125	5	19	小沼弘明	2,000
90	4	11	後藤こずえ	4,000	126	5	24	仲西盛光	6,000
91	4	11	船木政明	12,000	127	5	27	吉田義経	2,000
92	4	11	朝倉康雄	6,000	128	5	27	村山孝之	6,000
93	4	16	岩沢稔	6,000	129	5	28	高波司雄	6,000
94	4	17	大江晴久	2,000	130	6	3	加藤真理	4,000
95	4	21	常井晴道	6,000	131	6	11	松山もと子	6,000
96	4	22	大里武光	4,000	132	6	12	二木喜代美	4,000
97	4	22	小林正明	2,000	133	6	16	田中清子	6,000
98	4	22	藤田力雄	6,000	134	6	20	藤原由文	2,000
99	4	23	海谷美代子	12,000	135	6	23	伊東美智子	2,000
100	4	24	外山宜男	12,000	136	6	25	錦井利臣	6,000
101	4	24	石井征也	18,000	137	6	25	田中章二	6,000
102	4	24	小玉幸子	12,000	138	6	30	舟山忠広	6,000
103	4	24	津村二郎	12,000	139	7	7	斎藤敬一	6,000
104	4	24	猪瀬宗子	12,000	140	7	15	中村秀也	4,000

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
141	8	1	中根 均	4,000	177	9	24	衛藤 聖子	2,000
142	8	1	橋本 和雄	2,000	178	9	26	山本 好隆	6,000
143	8	21	柏谷 錦一	4,000	179	9	26	西澤 眞里子	4,000
144	8	27	金子 洋平	6,000	180	9	26	島田 利夫	4,000
145	9	1	板谷 盛靖	8,000	181	9	29	慶田 盛定	6,000
146	9	2	峯田 孝幸	4,000	182	9	29	樗 一幸	4,000
147	9	4	伊藤 勇	6,000	183	9	29	藤原 由文	2,000
148	9	10	木村 多喜	6,000	184	9	29	櫛谷 宗敬	6,000
149	9	11	近藤 明	6,000	185	9	29	中山 孝之	2,000
150	9	11	山崎 忠男	6,000	186	9	30	古川 堅	2,000
151	9	12	山崎 雅昭	6,000	187	9	30	久保田 一行	4,000
152	9	12	鈴木 康夫	18,000	188	9	30	林 秀樹	2,000
153	9	15	田中 康義	4,000	189	9	30	川畑 龍雄	4,000
154	9	15	水島 宏一	4,000	190	10	1	境 保則	6,000
155	9	15	藤田 純一	6,000	191	10	2	小貫 孝春	6,000
156	9	15	矢木 幹男	4,000	192	10	2	梶山 広司	6,000
157	9	16	岡本 公子	6,000	193	10	3	寛山 秀成	7,000
158	9	16	渡辺 美弥子	6,000	194	10	3	土持 修子	2,000
159	9	19	佐藤 寿治	2,000	195	10	5	早田 卓次	18,000
160	9	19	山脇 恭二	4,000	196	10	6	上野 剛	6,000
161	9	19	平井 良幸	4,000	197	10	6	田野 哲	6,000
162	9	19	高橋 有理	4,000	198	10	6	渋谷 葉子	2,000
163	9	19	川久保 祐司	4,000	199	10	7	大里 武光	4,000
164	9	22	金野 東	2,000	200	10	8	初山 芳雄	6,000
165	9	22	松山 禎一	6,000	201	10	8	山下 敦	4,000
166	9	22	五十嵐 久人	6,000	202	10	9	遠藤 慶	2,000
167	9	23	船木 政明	6,000	203	10	9	橋本 博之	6,000
168	9	23	水田 靖人	6,000	204	10	9	森山 理	6,000
169	9	23	天童 毅	4,000	205	10	9	染谷 忠勝	8,000
170	9	23	富松 由三子	18,000	206	10	14	竹村 里香	8,000
171	9	24	小坂井 一弘	4,000	207	10	16	真島 孝禮	6,000
172	9	24	佐々木 千佐子	4,000	208	10	17	馬場 祐二	6,000
173	9	24	後藤 靖治	4,000	209	10	21	坂田 安世	6,000
174	9	24	林 富久寿	6,000	210	10	25	藤原 和子	6,000
175	9	24	加藤 嘉明	10,000	211	10	27	佐藤 善幸	4,000
176	9	24	中村 幸子	6,000	212	10	28	遠藤 幸一	4,000

No.	月	日	氏名	金額	No.	月	日	氏名	金額
213	10	29	青木 昭文	6,000	234	12	17	吾妻 晶子	4,000
214	10	30	大塚 文夫	6,000	235	12	22	渡辺 英明	4,000
215	11	3	伊藤 訓子	2,000	236	12	23	水島 克己	4,000
216	11	4	志村 久子	6,000	237	12	26	笹岡 康徳	4,000
217	11	10	山口 純子	30,000	238	12	26	中谷 秀明	6,000
218	11	11	徳永 富夫	6,000	239	12	26	村上 吉正	6,000
219	11	13	平田 倫敏	4,000	240	12	26	坪井 しのぶ	6,000
220	11	13	林 弘策	4,000	241	12	29	名護 晃	4,000
221	11	24	梅本文子	6,000	242	12	30	田嶋 しのぶ	4,000
222	11	24	松田 洋	6,000	243	12	30	二木 喜代美	4,000
223	11	27	柏谷 錦一	4,000	244	12	30	高橋 千春	4,000
224	11	28	島崎 康行	6,000	245	1	9	舟山 忠広	6,000
225	11	28	千野 良一	6,000	246	1	22	岩田 惇	6,000
226	12	1	鈴木 亜矢	2,000	247	1	22	林 洋介	4,000
227	12	8	岩井 高志	4,000	248	1	22	喜多川 和也	4,000
228	12	12	相原 まゆみ	2,000	249	1	28	梅田 陽子	2,000
229	12	12	仲西 盛光	6,000	250	2	3	鶴見 興人	6,000
230	12	13	君嶋 孝之	4,000	251	2	12	宮根 豊	10,000
231	12	15	小栗 郁郎	6,000	252	2	16	酒井 博行	24,000
232	12	15	伊谷 正一	6,000	253	3	1	藤原 聡	2,000
233	12	16	助信 昌俊	2,000	254	3	2	林 宏行	4,000

※ご協力ありがとうございました。

会費納入のお願いと住所シールの見方～会費未納の方へ～

お忙しい方には会費の振込が不便ですが、何とか都合をつけ、気付いた時にすぐ入金いただくようお願い申し上げます。また、複数年分の入金も受け付けておりますので、ご利用ください。ご連絡いただければ、未納分の金額をお知らせいたします。なお、お振込の際には、必ず振込用紙の各欄に詳細をはっきりとご記入下さるようお願い申し上げます。

<住所シールの見方>

(34-06) 君嶋孝之様

2000年度分まで納入済：99/12/13付入金

→個人コード番号(体操部 34 回卒)

→2000年度分までが、1999年12月13日付で入金されています。

・平成12年度分の会費について

正会員の年会費については、卒業後20年以上の場合は6,000円、同10年以上20年未満の場合は4,000円、同10年未満の場合は2,000円となっています。よって平成12年度分の会費は次のようになります。

1～22回卒：6,000円

23～31回卒：4,000円

32～41回卒：2,000円

【郵便振替口座番号】 00140-5-111495 日本大学桜樹会

平成 11 年度 収支決算書

平成 11 年 4 月 1 日～平成 12 年 3 月 31 日

(収支決算)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額
収入総額	2,400,000	2,664,442	264,442
支出総額	2,400,000	1,707,975	692,025
差引(次年度繰越金)		956,467	

会計監査



(収入明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
前年度繰越金	1,098,177	1,098,177	0	
会 費	1,300,000	1,385,000	85,000	254 名分
寄 付	0	0	0	
雑収入	1,823	181,265	179,442	利息(普通・定額)、懇親会 (総会、全日本インカレ)残金
合 計	2,400,000	2,664,442	264,442	

(支出明細)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 減 額	備 考
事業費	1,400,000	1,156,314	243,686	会報第 33 号・1999 会員名簿 発行;558,414、 競技会補助;540,000、 総会準備;57,900
補助費	300,000	200,000	100,000	体操部補助
会議費	20,000	0	20,000	
通信費	300,000	271,300	28,700	会報他郵送料
事務費	50,000	22,186	27,814	原稿用紙、印刷用具購入
雑 費	30,000	17,465	12,535	口座手数料他
予備費	300,000	40,710	259,290	五輪強化資金寄付他
合 計	2,400,000	1,707,975	692,025	

(特別積立金)

記念事業費	500,000
-------	---------

平成 11 年度 総会報告

平成 12 年 3 月 18 日(土)17:00～ サンルート東京「~~桔梗~~」変更→「白百合」
出席) 1;石井征也、2;芳尾明、4;小俣里知子・菊地君男・木村多喜・早田卓次、
5;小松武雄・山中勝男、7;佐藤勲、9;伊藤寛美、10;菅野多賀子、11;工藤昌二、
12;相原和明、17;梶山広司、31;長澤郁子、34;君嶋孝之・西川大輔

以上 17 名

委任状 291(277+14)通…通知 679(うち不明 9)' 00.03.18 現在

I 会長挨拶…会長;石井征也(1回卒)

II 議長・書記選出

・議長;菊地君男(4回卒)…承認 ・書記;伊藤寛美(9回卒)…承認

III 報告事項

1. 事業および行事報告…桜樹会関係;事務局

体操部関係;西川大輔(34回卒)

※競技成績、懇親会報告および役員会報告等の詳細については会報第 34 号に記載予定。

2. 新入会員報告…事務局→41回卒;11名(男性7名、女性4名)

3. その他

1) 畑野芳喜(16回卒)会員の退会について

…本人からの申し出(入退院の繰り返し等)あり→役員会にて承認済み(16-24;欠番)

2) 常井晴道(9回卒)会員のブロック幹事引継ぎについて

…本人からの申し出により中国地区のブロック幹事を小野田博之(25回卒(鳥取)…本人には了済みとのこと)会員に引継ぎ→第1回役員会にて承認済み

3) 各事業および行事も含めた会への会員の参加不振について

…各懇親会における呼び掛けで対応していく(→詳細は後述)

4) オリンピック(シドニー)壮行会について

…状況により、平成 12 年度第 1 回役員会(平成 12 年 6 月 4 日予定)にて対応の予定

5) 日本大学桜樹会発足 40 周年について

…会則制定;1963(昭和 38)年 3 月 24 日

6) 社会人大会における審判員の派遣要請がある場合について

…派遣の場合の審判旅費等、または派遣できない場合の連盟への審判員委嘱費が必要
→事業費の各競技会参加補助における社会人大会分の増額(¥50,000—程度)で対応する

7) 社会人大会を除く各競技会における費用について

…選手およびチームリーダー分の費用は事業費(各競技会参加補助)で対応している

IV 審議事項

1. 平成 11 年度収支決算報告…事務局

2. 会計監査報告…会計監査;小松武雄(5回卒)

「平成 11 年度第 1 回役員会(平成 11 年 3 月 12 日)」

3. 平成 11 年度収支決算の認否→全員一致で承認

4. 平成 12 年度事業および行事計画…事務局

5. 平成 12 年度事業および行事計画の認否→全員一致で承認

6. 平成 12 年度予算案…事務局

7. 平成 12 年度予算案の認否→全員一致で承認

8. その他

1) 各ブロックの活性化について

…各ブロックの活性化のために、各ブロック幹事に活動計画案の提出を依頼中→活動計画案のある場合は会報第 34 号に掲載予定

・各種事業、行事への参加の呼掛けが桜樹会全体の活性化、また年度会費納入の実現にも繋がると考えられるが、中央ばかりでなく各ブロック幹事によって地方の会員への呼掛けもより積極的に行い、競技会等があればなお呼掛けしてみてもは？→各競技会における懇親会等に関しては、毎回多数の参加あり。

・佐藤 勲（7 回卒；東北ブロック幹事）→p. 14「東北ブロック活性化に向けて」

・ブロック幹事の協力により、年 1 度、何かことを起こすこともよいのではないかと？

・ブロックごとの（忘年会等の）持回り制も実施してみないと分からないのでは？

・ブロック活動等の（呼び掛け用通信費等の）補助金について→期待通りにはできないかもしれないが、多少考えていく。

・大会がなくとも呼掛けをしてみてもは？→ゴルフ等？

・総会のみではなく、何か工夫をしていってみたいかどうか？

・インターハイおよび国体などの際に第 2 次総会のようなものを開催してはどうか？

2) 新年会および忘年会について

…特に新年会については中央の会員のみで行っていると誤解されかねないが、あくまでも「有志」ということで開催され会報に掲載（「事業および行事計画」）、また報告（「懇親会報告」）されている。よって、桜樹会としての補助金は一切なしに出席者の個人負担によって賄われており、地方の各ブロックでもそのような催しがあって、その申し出があれば同様に会報に掲載、報告していく。

3) 祝賀会等の開催について

…各地で桜樹会関係者が様々なかたちで表彰等を受けているが、それらに対する祝賀会等にはどう対応しているのか？→地方で表彰されたものについては、（桜樹会として）申告のあった場合に限り対応しており（または有志で対応している場合もあるが）、今後のことで何かあれば遠慮なく申し入れして欲しい。

4) 桜樹クラブの補助金について

…桜樹クラブとして社会人大会等の競技会に参加する費用等は、可能であれば全額補助としたいが、現時点では 2～3 割程度にとどまってしまっている。年度会費が 1 人でも多く納入されれば、前出のブロックごとの補助金も併せて可能となる。

5) 年度会費について

…年度会費の滞納が続くと、次第に金額も大きくなってしまい納入しづらくなってしまふ会員もあるのでは？→年度会費は現時点からでも納入可能。

総会終了後、会員懇親会（遠藤先生国際体操殿堂入り祝賀会）

平成 12 年度 事業および行事計画

月	日	事業および行事内容	場 所
4	15～16	オリンピック 2 次選考 (応援)	町田；町田市総合体育館
5	11～13 27～28	東日本インカレ (応援) NHK 杯・オリンピック代表決定 (応援・懇親会) 会報第 34 号発行・発送	越谷；越谷市立総合体育館 金沢；
6	4	第 1 回役員会	
7	29～8/1	全日本インカレ (応援・懇親会)	越谷；越谷市立総合体育館
8	6～8	インターハイ (懇親会)	岐阜；
9	3	第 2 回役員会	
10	6～8 15～18	社会人 (選手派遣・応援・懇親会) 国体 (懇親会)	鯖江； 富山；富山市総合体育館
11	3～5 25～26	全日本 (応援・懇親会) 関東学生新人・交流 (応援) 忘年会 (有志)	仙台； 熱海；ホテル貫一
1	20	新年会 (有志)	新宿；栄寿司二号店
4	1	第 3 回役員会 平成 12 年度総会・懇親会	



平成 12 年度 予算案

平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日

(収支決算)

項 目	予 算 額
収入総額	2,260,000
支出総額	2,260,000
差引(次年度繰越金)	0

(収入明細)

項 目	予 算 額	備 考
前年度繰越金	956,467	
会 費	1,300,000	
寄 付	0	
雑収入	3,533	利息
合 計	2,260,000	

(支出明細)

項 目	予 算 額	備 考
事業費	1,200,000	会報第34号発行;500,000 各競技会参加補助;500,000 総会開催準備;200,000
補助費	300,000	体操部補助
会議費	20,000	会議室使用料
通信費	300,000	会報他郵送料
事務費	50,000	原稿用紙、印刷用具購入他
雑 費	30,000	口座手数料他
予備費	360,000	
合 計	2,260,000	

平成 12 年度 新入会員名簿

<41回卒；11名(男性7名、女性4名)>

コード	氏名	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	勤務先電話	出身高校
41-01	浅見 美鈴	168-0073	杉並区下高井戸 1-37-13 サニ-II201	090-2661-8672			埼玉/埼玉栄高
-02	天海 仁志	321-0132	宇都宮市雀宮 2-18-6	0286-53-7669			栃木/作新学院高
-03	門脇 年宏	290-0071	市原市北国分寺台 4-20-3	0436-43-8150			茨城/土浦日大高
-04	鎌田 康秀	358-0002	入間市東町 4-3-67	042-962-0457			茨城/土浦日大高
-05	辛島 稔宜	730-0052	広島市中区 千田町 1-3-3-801	082-249-5715			広島/崇徳高
-06	斎藤由美子	164-0001	中野区中野 1-33-11 城山マンション 303	090-2675-3140			群馬/伊勢崎女子高
-07	西山 実花	168-0073	杉並区下高井戸 1-36-7 イズミハイツ 202	090-2329-1168			岡山/山陽女子高
-08	畠田 健次	732-0821	広島市南区 大須賀町 20-6-1401	090-4910-2433			広島/崇徳高
-09	平本 将人	143-0015	大田区大森西 5-7-3	090-1459-0447			神奈川/湘工大附高
-10	山野千英由	210-0806	川崎市川崎区中島 3-11-2	044-244-1907			神奈川/鶴見女子高
-11	吉岡 知宏	156-0045	世田谷区桜上水 4-11-15 サクラハイツ 202	090-4662-0008			沖縄/興南高

1999 会員名簿訂正

平成 12 年 3 月現在

コード	氏名	旧姓	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	勤務先電話	出身高校
02-06	吉川 晃		241-0002	横浜市旭区 上白根1-21-18	045-951-8970	(株)文祥堂	03-5560-7268	東京/麻布高
03-05	斉藤正弘		010-0874	秋田市 千秋久保田町5-72	0188-33-9548			秋田/秋田工業高
04-02	上野 剛		153-0065	目黒区中町1-2-20	03-3711-8982	ケント・コーポレーション(株)	048-861-9955	東京/日大鶴丘高
06-08	古賀和彦		837-0917	大牟田市草木1046-3	0944-53-3894	三菱重工 九州販売(株)	096-357-8191	福岡/三池高
07-19	和田 勝		963-1164	郡山市田村町 御代田渕/上43	024-944-7536	日本大学工学部	024-956-8684	国士舘大学
09-03	朝倉徳雄		272-0114	市川市塩焼2-2-1-913	047-396-3775	日本大学理工学部	047-469-5298	秋田/秋田工業高
10-02	安藤泰行		233-0016	横浜市港南区 下永谷5-52-1	045-823-3109	横浜商大高校	045-951-2246	神奈川/ 横浜商大高
-04	井上 博		182-0023	調布市染地3-1-263 P16-937	0424-89-0240	絵につき	0424-87-9703	北海道/ 札幌光星高
-12	千野良一		170-0002	豊島区巢鴨4-2-14-401	03-3917-5979	(有)日本電話 衛生協会	03-3917-5754	東京/国学院高
-24	森 昭雄		101-0062	世田谷区岡本2-28-20	03-3219-5748	日本大学文理学部	03-5317-9717	北海道/
-25	渡部宣裕		344-0041	春日部市増富243-118	048-761-2265	日本大学法学部	03-5275-8752	東京/本郷高
11-08	梅本文子	仁木	982-0261	仙台市青葉区 折立5-10-8	022-226-0006			宮城/ 常磐木学園高
-14	櫛谷宗敬		959-1824	五泉市吉沢1-6-7	02504-2-2721	北誠運搬機(株)	0252-45-0281	新潟/村松高
-15	工藤昌二		108-0074	港区高輪4-20-10-201	03-5420-1828	エルパ(株)	03-3385-6363	秋田/秋田工業高
-16	工藤由吏	関口由吏	108-0074	港区高輪4-20-10-201	03-5420-1828			東京/藤村女子高
-28	三木和一郎		270-2222	松戸市高塚新田141-18	0473-92-3008	デクスター・マシ(株)	03-3407-8171	愛媛/川之江高
-29	宮本美恵子	岡田	251-0024	藤沢市鵠沼橋2-1-15	0466-26-1342			/中央高

ｺｰﾄﾞ	氏名	旧姓	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	勤務先電話	出身高校
11-36	藤田純一		760-0078	高松市今里町8-26	087-866-9781	藤田純一 司法書士事務所	087-821-1524	香川/観音寺一高
12-22	田中清子	稲谷	640-8463	和歌山市楠見中201-16	073-452-9449	県立和歌山北高校	073-454-6582	高知/追手前高
-24	辻岡 寛		466-0005	名古屋市中区 雪見町3-16-1		市立相生小学校	052-803-3501	長崎/佐世保北高
-32	三田 裕		016-0843	能代市中和2-4-38		市立第一中学校	0185-52-2227	秋田/能代高
-41	是澤守義	竹中	787-0001	中村市本町3-11	0880-34-1871	県立清水高校	08808-2-1236	/
-45	宮野史郎		001-0922	札幌市北区 新川二条12-3-1				秋田/能代高
13-29	堀田信二		306-0053	古河市中田1075-41	0280-48-4510	浦和実業学園高校	0488-61-6131	三重/桑名高
-34	吉村 博		639-2151	北葛城郡当麻町 南今市38-3	0745-48-6460	吉村政雄靴下工場	0745-48-2316	新潟/高田商高
14-09	田中章二		649-6316	和歌山市上野595-1	073-462-5001	県立和歌山北高校	073-454-6582	福岡/戸畑高
15-16	林 富久寿		300-0817	土浦市永国1137-9	0298-24-2623	土浦日大高校	0298-22-3382	茨城/土浦日大高
16-14	鈴木良之		336-0923	浦和市大間木533-16	0488-67-7801	滝野川女子学園 高校	03-3910-6315	宮城/盛岡一高
-23	長谷川義和		990-0300	東村山郡山辺町2979-6				山形/山形商高
-24	畑野芳喜			本人の申し出により 会員から削除				
-30	岩瀬 肇		444-0322	西尾市巨海町宮前3				/
17-01	安藤久実	青木	190-0032	立川市上砂町1-13-1 上砂町1丁目アパ-ﾄ22-203	0425-31-8056			栃木/作新学院高
-06	大津卓也		305-0012	つくば市中根588	0298-57-3286	市立今鹿島小学校	0298-47-2440	茨城/土浦日大高
-28	松山禎一		861-4172	熊本市御幸笛田7-8-53	096-379-2118	県教育庁 体育保健課	096-383-1111	熊本/鎮西高
18-18	富松由三子		532-0012	大阪市淀川区 木川東2-11-4-507	06-6306-0864	グリーンストラクター	06-6306-0864	和歌山/ 和歌山北高
-22	松田 洋		981-8003	仙台市泉区 南光台4-11-35	022-271-9831			宮城/仙台育英高

コード	氏名	旧姓	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	勤務先電話	出身高校
18-28	湯原清介		701-4233	邑久郡邑久町 向山247-12				岡山/岡山日大高
-32	山本一晴		561-0864	豊中市夕日丘1-3-17	06-6856-3689	履正社高校	06-6864-0456	和歌山/ 和歌山北高
19-01	朝倉和幸		173-0026	板橋区中丸町53-15-612 ヒルトップ・スクエア	03-3974-6878	(財)スポーツ会館	03-3364-0101	東京/日大鶴丘高
-02	板谷盛靖		599-0232	阪南市箱作2875-220	0724-76-2157	OJUオージュ(自営業)	072-824-0656	高知/高知工高
-07	齋藤藤太		260-0844	千葉市中央区 千葉寺町898-7	043-243-5215	辰巳台中学校	0436-74-2475	千葉/習志野高
-14	山田秀二	中村	571-0026	門真市北島町1-8	072-884-3741	社会福祉法人 新堂保育園	0723-32-7707	兵庫/葺合高
-18	巻島久		300-1632	北相馬郡利根町 下曾根335	0297-68-2219	取手小学校		茨城/取手二高
-23	水田靖人		669-1358	三田市藍本2317-91	0795-68-6483	市立淡河中学校	078-958-0301	兵庫/神港高
20-11	高橋博美		015-0001	本荘市出戸町字八幡下 106-9 シティ 7-301	0184-24-1919	秋田アスレチッククラブ 本荘	0184-22-3232	秋田/秋田工業高
-17	世良直子	西本	720-0013	福山市千田町千田2231	0848-67-0184	蔵王スイミングスクール	0849-43-5530	広島/三原東高
-24	山崎常雄		336-0017	浦和市南浦和3-46-8	048-886-3005	草加高校		東京/日大一高
21-03	岩井高志		464-0033	名古屋市千種区鹿子町 3-6 おひせ荘2F右	052-781-0435	(株)三晃社	052-961-2222	愛知/向陽高
-15	中村秀也		065-0024	札幌市東区北二四条東 16-3-29 ハイツ宮崎2F	011-784-6775	カワイ体育教室	011-231-8661	北海道/旭川大高
-19	針替儒之	関	306-0612	岩井市猫美新田548-1	0297-39-2666	境二中学校	0280-86-5316	茨城/土浦日大高
-21	松下直人		709-3931	苫田郡加茂町中原155	08684-2-2627			京都/洛南高
-23	水島克己		611-0002	宇治市木幡南山74-7	0774-32-5053	(株)カトラス	0774-32-5053	大阪/清風高
22-07	松岡加容	友久加代	775-0000	海部郡牟岐町浜崎105	08847-2-1521			徳島/徳島商高
-08	尾崎喜代美	二木	060-0054	札幌市中央区 南四条東2-19	011-241-3612	(株)三幸商店	011-811-9451	北海道/ 東海大四高

コード	氏名	旧姓	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	勤務先電話	出身高校
22-12	柳井 実		876-0100	南海部郡弥生町 石丸 1790-1		ネットワーク通信	03-3829-2532	大分/佐伯鶴城高
23-04	津村吉輝		640-8111	和歌山市新通 2-28	073-424-2800	岩出第二中学校	0736-62-8851	和歌山/ 和歌山北高
-05	野際摂子	宮本	640-8324	和歌山市吹屋町 3-23-1	073-425-1719	下津第一中学校	073-492-0101	兵庫/ 武庫川学園高
-10	峯田孝幸		420-0886	静岡市大岩 2-11-15-302	054-209-1208	大和銀行静岡支店	054-254-6101	山形/日大山形高
-11	峯田知加子	宮本	420-0886	静岡市大岩 2-11-15-302	054-209-1208			和歌山/ 和歌山北高
-12	渡辺英明		338-0802	浦和市木崎 4-1-24-306	048-831-6580	ヒーブルエグザス 北浦和	048-831-1365	山口/桜ヶ丘高
24-01	市原邦彦		315-0057	千代田町上土田 480-15	0299-59-6227	(有)ワルト企画	0299-59-6227	茨城/土浦日大高
-04	小坂井一弘		228-0021	座間市緑ヶ丘 3-23-35 サンハイ緑ヶ丘 202	0462-53-7629	(株)スポーツプログラムズ	03-5793-7015	兵庫/芦屋高
-05	塩倉智代	木島	689-4204	日野郡溝口町谷川 293	08596-2-1318	マトモアベル・ノンノ		鳥取/米子商高
-07	鈴木嘉津江	杉崎	317-0074	日立市旭町 2-3-2	0294-22-9288			茨城/鉾田二高
-09	田中誠子	湯川	649-6316	和歌山市上野 595-1	073-462-5001			和歌山/ 和歌山北高
25-12	堀 正道		583-0014	藤井寺市野中 3-6-27	0729-38-0293	光陸運(株)	0722-65-4311	大阪/清風高
-13	堀 久美子	佐藤	583-0014	藤井寺市野中 3-6-27	0729-38-0293			三重/暁高
26-05	川畑龍雄		654-0153	神戸市須磨区 南落合 1-8-29	078-795-5092	市立兵庫商業高校	078-594-7236	兵庫/神港高
-07	高橋有理	齋藤	371-0804	前橋市六供町 707-3	027-221-8026	市立箱田中学校	027-252-5711	群馬/ 前橋市立女子高
27-08	吉川秀之		332-0021	川口市西川口 2-9-20 1/2 エル川口 601	048-255-0687	日本デザイン(株)	03-3320-3381	東京/日大豊山高
28-17	吉沢 真		399-8303	穂高町穂高 5710-3 ハイッマダ B-101	0263-84-0708	飯田養護学校	0265-33-3711	長野/長野中央高
29-03	加藤嘉明		288-0813	銚子市台町 1821-4	0479-25-0179	市立第二中学校	0479-72-1375	千葉/銚子商高

コード	氏名	旧姓	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	勤務先電話	出身高校
29-06	野口愛子	佐久本	356-0051	入間郡大井町 亀久保 968-3	0492-63-2432			沖縄/興南高
30-11	三川敦司		670-0883	姫路市城北新町 2-19-33-107	0792-88-0144	市立安室中学校	0792-93-2761	兵庫/飾磨高
31-06	金野 東		012-0045	湯沢市岡田町 9-12	0183-73-0636	県立近代美術館	0182-33-8855	秋田/能代高
-09	大山千晶	田澤	997-0046	鶴岡市みどり町 26-7	0235-22-8089	村立朝日中学校	0235-53-2092	山形/鶴岡北高
-10	田村 真		481-0037	西春日井郡西春町 鍛冶ヶ一色村内西 82	0568-21-1405			愛知/中京高
32-02	遠藤 慶		640-8323	和歌山市太田 488-1 ハツカトゼン 602	073-433-7503	森永乳業(株)		東京/保善高
-04	及川美奈	岡	140-0004	品川区南品川 6-15-17 ゼームス坂パークハウス 202	03-3474-0939	長谷エアベスト	03-5440-5813	千葉/八千代高
-08	佐藤寿治		340-0041	草加市松原 5-2-13 シャトルベルメント A-102	0489-41-0964	(株)大和銀行 銀座支店	03-3561-3131	千葉/市立船橋高
-14	野平悦子		228-0802	相模原市上鶴間 6-26-11-201		東京日産モーター(株)	0120-41-8623	東京/ 校成学園女子高
-15	藤原由文		181-0003	三鷹市北野 1-1-9-306	0422-71-7509	オフィス アルケミスト (自営業)	0422-71-7509	京都/洛南高
33-02	川崎聖子		277-0051	柏市加賀 2-2-5	0471-73-0681	さくら銀行 コールセンター本部	03-5437-5363	千葉/昭和学院高
-04	竹田盛勝		120-0014	足立区西綾瀬 2-23-22-401	0489-44-7404	(有)トップブランド	03-5662-8484	茨城/土浦日大高
-09	橋本博之	平井	761-0104	高松市高松町 357-7 フォータル古高松 B-102	0878-41-4331	高松西高校	0878-45-2155	岡山/関西高
-13	山本昭二郎		271-0093	松戸市小山 521-1 菱和エレクトロニクス 505	047-368-8578	(株)ユニマット	03-3205-4311	静岡/静岡学園高
34-03	竹中 剛	岩田	769-2902	大川郡引田町馬宿 611-5	0879-33-2023	(株)津田健康開発 公社	0879-42-5888	茨城/土浦日大高
-09	中塚伸次		709-3923	苫田郡加茂町桑原 826	0868-42-4025			岡山/関西高

コード	氏名	旧姓	〒	現住所	現住所電話	勤務先名	勤務先電話	出身高校
34-12	浅見しおり	宮本	336-0901	浦和市領家 1-5-8 エントール 302	048-883-9441	日立セミコンデバイス	03-3215-8600	広島/三原高
35-03	石口雅也		124-0005	葛飾区宝町 1-7-6	03-5670-2721	株式会社学館	03-3295-3791	東京/日大桜丘高
36-03	岩井則賢		340-0015	草加市高砂 2-21-6 カム草加 507	0489-43-9935	大和銀行	03-3661-9771	群馬/高崎工高
-04	梅田陽子		166-0012	杉並区和田 1-10-6 ネサキス 21-401	03-3474-4048	日大高校	045-563-2134	東京/品川女子高
-08	染谷忠勝		336-0022	浦和市白幡 5-1-28 グリーンハイツ金幸 907	048-837-3519	(財)三菱養和会	03-3917-1664	東京/保善高
-11	林 秀樹		432-8051	浜松市若林町 1741 ラ・プランタン 102	053-440-6447	株式会社河合楽器製作所	053-457-1375	茨城/土浦日大高
37-01	今木重光		559-0002	大阪市住之江区 浜口東 2-6-27	0489-43-1650	大和銀行		大阪/清風高
-09	相原まゆみ	藤田	276-0014	八千代市米本 1359 米本団地 5-15-507	047-488-0655			千葉/習志野高
-10	葛城雅恵	美崎	640-8324	和歌山市吹屋町 2-66	073-431-2321	県教育庁	073-441-3692	和歌山/ 和歌山北高
-13	伊藤訓子	米本	963-4312	田村郡常葉町大字 常葉字中町 40-3	0247-82-5886	市立鬼生田小学校	024-972-2130	福島/日大東北高
38-02	大江晴久		338-0811	浦和市白鵜 640-105 425s. Grant St. #9	090-2750-9380	(有)田村内張製作所	048-852-7755	山形/日大山形高
-12	下河内洋平			Bloomington IN. USA. 47401		日本大学 大学院研究生		東京/日大桜丘高
-13	角 雅代		659-0043	芦屋市大東町 18-6-115	0798-26-3289	県立総合体育館	0798-43-1143	千葉/渋谷幕張高
39-08	河原 史		213-0034	川崎市高津区上作延 1122-2 県公社 7-752	044-866-2858			神奈川/荏田高
-11	藤原 聡		041-0822	函館市亀田港町 63-8 ムラン亀田港 NO. 2-201	090-2059-2349	株式会社函館まんわ	0138-42-2260	山形/余目高

現住所不明者

平成 12 年 3 月現在

ｺｰﾄﾞ	氏名	出身高校	旧姓	ｺｰﾄﾞ	氏名	出身高校	旧姓
01-02	稲橋恒行	東京/日大豊山高		13-11	小林英子	鳥取/米子西高	山村
04-03	高木 穰	富山/富山商高	大場	-27	藤田多恵子	山梨/諏訪二葉高	宮沢
-11	竹内 勇	茨城/水戸農高		-38	高橋美佐子	高知/追手前高	田内
05-11	稲垣泰治	東京/日大二高		15-03	大木米男	茨城/土浦日大高	
06-09	小松楯木	秋田/能代高		-17	三鼓章平	広島/盈進高	
07-01	石田礼三	山形/米沢興譲館高		-19	宮原万亀	福岡/戸畑高	竹下
-14	藤田 一	高知/		16-03	柄沢康弘	群馬/高崎工高	
08-19	竹内和好	/		-04	河野和弘	福岡/福大附大濠高	
11-10	大野登利光	東京/本郷高		-10	佐々木武雄	宮城/仙台育英高	
-17	里中昌子	静岡/誠心高	山田	-16	丹部敬仁	熊本/鎮西高	
-33	渡辺美智子	栃木/宇都宮中央女子高		-22	野原秀安	沖縄/興南高	
12-05	伊藤信一	/		17-02	五十嵐仁一	茨城/土浦日大高	
-08	加茂康明	福岡/戸畑高		-16	須賀京子	埼玉/春日部女子高	
-14	佐藤 均	秋田/能代高		-19	中川鈴俊	東京/保善高	
-16	須賀 功	高知/		18-05	加藤英夫	山梨/日大明誠高	
-20	武田 昇	/		-17	千田修平	岡山/関西高	
-38	大島安広	/		21-02	市丸佳子	東京/新宿高	
-39	後藤信義	/		-10	酒田 隆	秋田/大館鳳鳴高	
-42	寺田 誠	福岡/戸畑高		28-01	玉内幸子	秋田/和洋女子高	阿部
-43	牧川明生	佐賀/唐津高		29-02	佐藤聖子	北海道/東海大四高	浮田
13-05	伊藤 繁	大阪/清風高		33-05	田中佳昭	京都/洛南高	

日本大学八幡山総合学生寮体操部（男子合宿所）

〒156-0056 東京都世田谷区八幡山2-10-24 日本大学八幡山総合学生寮体操部

電話・FAX 03-3304-5145

※来年度は2001会員名簿の発行（予定）の年度となりますので、上記以外の1999会員名簿の訂正（現住所および勤務先など）をされる方は、事務局まで文書（またはFAX等）にて必ずご連絡下さるようお願い申し上げます。また、現住所不明の方の所在に関する情報がある場合も同様をお願いします。

平成 12 年度 体操部行事予定

(日本体操協会行事を含む)

4月1日現在

月	日	行 事	備 考
4	8	入学式 (日本武道館)	
	中旬 15~16	保健体育審議会入会式 (日大会館) オリンピック 2次選考 (町田)	
5	上旬	体操部新入生歓迎会 (砧公園)	
	11~13 27~28	東日本インカレ (越谷) NHK杯・オリンピック代表決定 (金沢)	
7	29~8/1	全日本インカレ (越谷)	
8	6~8	インターハイ (岐阜)	
	13~17	全日本ジュニア (横浜)	
	20~22	全国中学校 (岐阜)	
9	15~10/1	オリンピック (オーストラリア・シドニー)	
10	6~8	社会人 (鯖江)	
	15~18	国体 (富山)	
11	3~5	全日本 (仙台)	
	11~12	中日カップ名古屋国際 (名古屋)	
		関東学生新人・交流	
12	中旬	体操部スポーツ大会 (日大文理)	
2	中旬	体操部卒業生送別会	
3	上旬~中旬	春季合宿 (土浦日大高)	
	25	卒業式 (日本武道館)	
	26~27	高校選抜 (大阪)	



平成 12 年度 体操部役員および部員

体操部役員

顧問；濱田 靖一、遠藤 幸雄 部長；早田 卓次 監督；梶山 広司
 コーチ；木村 多喜、長澤 郁子、西川 大輔

体操部員 48名(男子30名、女子18名)

4年；

高橋 勇騎／埼玉栄高
 加藤 芳隆／湘工大附高
 濱崎 誠／関西高
 鈴木 和司／土浦日大高
 日下部充洋／崇徳高
 近藤 義和／青森山田高
 関根 彩／藤村女子高
 原 伊都香／和歌山北高
 吉岡 彩子／品川女子高
 井野 里奈／四天王寺高
 石丸 悠佳／明光学園高
 下間 淳／矢板中央高

3年；

木村 光／近大附和歌山高
 山田 真二／熊本学大附高
 太田 崇／関西高
 鏡 尚志／作新学院高

葛西 玲広／埼玉栄高

平 敏樹／土浦日大高

錦井 浩樹／れいめい高

古川 哲也／洛南高

井上あい子／北陸高

斎藤みずき／藤村女子高

山崎 紀子／札幌第一高

半藤 京子／埼玉栄高

2年；

古市 正樹／清風高

能勢 龍二／れいめい高

葛西 望／埼玉栄高

佐藤 祐介／日川高

野村 俊介／日川高

福島 武広／湘工大附高

宮原 克典／清風高

森下 亮／市立兵庫商高

日向小百合／山梨学大附高

岡崎 恵美／品川女子高

上川みゆき／夙川学院高

利根 彩恵／綾瀬高

内藤 啓子／習志野高

1年；

芳村 裕生／洛南高

若松 伸／県立庄内総合高

田崎 裕祐／熊本学大附高

難波 政明／姫路商業高

西村 祥／東海大第四高

松谷 育英／姫路商業高

山城 真哉／報徳学園高

荒 美樹／相武台高

山北恵理子／藤村女子高

松本 陽奈／熊本学大附高

山本加奈絵／札幌第一高

	練習開始時間		
	平日	土曜	休日
男子	16:20～	14:40～	13:00～
女子	16:20～	14:40～	10:30～

上記のような予定になっていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

・練習場；日本大学文理学部第2体育館3階体操場

電話 03-3329-1151(代表)

40周年記念号作成準備のお知らせとお願い

日本大学桜樹会もまもなく発足40周年の記念すべき年を迎えます。そこで「桜樹会会報」も、記念号を作成すべく、その準備を始めることとなりました。つきましては、桜樹会の会員の皆様には、今回の特別号に対して原稿（写真なども含めて）のご投稿をお願い申し上げます。なお、原稿枚数など特別な指定は設けませんので、40周年記念号のものとなるよう原稿などに明記の上、奮ってご投稿下さいますようお願い申し上げます（投稿先；事務局）。

編集後記

インターネット、電子メール、デジタル放送...。最近よく耳にし、すでに多くの人々が理解しつつある言葉です。そして、これらは着々と日本にも浸透してきています。

桜樹会でも、今回、ついに3名の会員（錦井、河島、三富）が会報の原稿を電子メールで送ってくれました。これは、本当に事務局の手間を軽減してくれる画期的な出来事です。

従来、会報は、手書きで送られてきた原稿を印刷業者に渡し、業者が版を作り、それを校正していました。その後、すべての原稿をワープロ打ちし、それを完全原稿という形で、印刷業者に渡すスタイルに変えました。この対処のメリットは、校正をしなくていい点（打ち込みミスを少なくできる）、すぐに完成品を仕上げることができる点、そして何よりも安価な点です。しかし、デメリットとしては、打ち込む手間がかかるということです。そして今回、3名の会員から送られてきた電子メールによる原稿は、その手間を省いてくれたのです。本当にありがとうございました。

さて、前述したように、ヒトは、より快適な環境を求め、便利な道具やシステムを改良・開発しています。そしてそれらは瞬く間に変わっていきます。こうなると10年一昔という言葉も今ではもはや死語となり、5年、いや3年一昔ぐらいになったのではないのでしょうか。

そんな折、昨年、男子体操部の寮も大きく

様変わりしました。これはものすごい画期的なことだと感じています。すでに何度か足を運び、食事もごちそうになったのですが、とにかく我々の時代とは格段に生活環境はよくなったといえるでしょう。男子部員の原稿にも書いてありますが、ゴキブリもネズミもどこへやら。寝苦しい夜や凍える朝もなくなり、おいしい栄養のバランスを考えた食事が準備されている...。ああ、何という素晴らしい（羨ましい）限りの環境。

しかし、すべてが満たされたわけではありません。例えば、寮費は非常に高額になりました。これも欠食するしないに関わらず、1年分の食事代を支払わなければならないからです。したがって食事は合宿所の食堂でとらないと損になるわけです。こうなると常に同じ場所で食事をとることになり、贅沢といえども飽き飽きしてしまいます。時には居酒屋でいっぱいやりながら自分の好きなものを注文したくなるのではないのでしょうか。

いずれにしても、デメリットよりはメリットの方が大きいと思われる新しい男子合宿所の完成。これを機に、ぜひ、日大の学生の中から再び日本を代表する選手が数多く出るように応援したいと思います。（先日行われたオリンピック2次予選において、学生選手がひとりも出場していないことから、ピンクの部旗が掲げられていない会場をみて寂しさを覚えた遠藤幸一記）

・ 会報への原稿募集について

日本大学桜樹会会員として活躍されている各位の体験談（よかったこと、悪かったこと、成功したこと、失敗したこと、今後の指導に望むことなど）をはじめとして、学生時代の思い出、現在興味を持っていること、近況報告などの原稿を募集しております。原稿枚数など特別な指定は設けませんのでぜひ投稿していただきたいと思っております。なお、こちらから原稿依頼をさせていただく場合もありますので、もし依頼状が手元に届きましたらお忙しいとは存じますが桜樹会の発展のためにも少しの時間をさいて寄稿していただけるようお願い申し上げます（投稿締切；毎年3月31日）。

投稿先；日本大学桜樹会事務局

〒157-0061 世田谷区北烏山7-5-12 遠藤 幸一

Fax 03-5384-7470 電子メール EZV00140@nifty.ne.jp

または

〒156-0045 世田谷区桜上水2-25-3 大八木荘8号室 君嶋 孝之

Fax 03-3306-0529

※FAXにてご投稿される場合は、その機種によって表向きでセットするものと裏向きでセットするものがありますのでご注意ください。

・ 郵便物の配達について

住所の変更がなくとも、まれに現住所不明で事務局まで戻ってきってしまう場合があります。ですので、日本大学桜樹会関連の郵便物が届かない場合は直接事務局の方へご連絡下さい（文書またはFAX等をお願いいたします）。

・ 会報第33号正誤表

ページ		正	誤
31	8行目	2；菊地君男・・・	2；菊池君男・・・

日本大学桜樹会会報 第34号

発行日 平成12年5月31日

発行者 日本大学桜樹会

出版所 (有)内外印刷

東京都調布市西つつじヶ丘3-12-2

〒182-0006 電話 0424-82-2603

